

<p>⑥政策立案への寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在外国研究、地域研究としての日本研究を促進することにより、社会経済開発に必要とされる経験、教訓を習得するとともに、対外政策を含めた同国の政策立案に寄与することが求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門分野を網羅した総合的な日本研究を単独あるいは関連機関と共同して実施、促進するとともに大学院教育を通して日本に関する学識を有する人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国研究の一環としての日本研究を促進することにより、研究の成果と人材育成を通して同国の政策立案に寄与することが期待される。
<p>⑦両国相互理解と交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とインドネシアの大学間における高度な学術交流については、欧米諸外国と比べ立ち遅れているのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本センターを日・伊両国の学術交流、文化交流の拠点として設立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日・伊両国の研究者が協力して相互に学術交流のために活躍できる場が設立されることにより活動とその分野が拡大発展し、両国相互理解を深めるうえで大きな効果がある。

本計画の実施は、インドネシアと日本の相互理解のみならず広く良好な国際関係維持、ひいてはインドネシア国の社会経済の発展に寄与するものであることから、本計画を無償資金協力で実施することは極めて妥当であると判断される。

また、インドネシア大学のデボックキャンパスへの統合移転に伴い、大学院各プログラムがデボックキャンパスに移転されてきているなかで、大学院日本研究プログラムはジャカルタ市内サレンバに残る大学院本部建物の一部を使用して実施されている。大学院本部建物そのものが手狭で運営に支障を来しているところ、同プログラムの博士課程の開設にむけても施設を緊急に整備拡充することが必要となっている。

さらに本計画の運営、管理についても相手国側体制は人員、資金共に妥当と判断され、問題はないと考えられる。しかし以下の点が改善・整備されれば本計画はより円滑かつ効果的に実施し得るであろう。

5-2 提言

(1) 日本との学術文化交流の促進

大学院日本研究プログラムはこれまで国際交流基金による包括的な援助が実施されてきており、インドネシア側の評価も高く、今後においても継続的な支援が望まれる。本センター設立後、さらに学術交流を深め、その分野を拡大することは両国の将来の文化交流の基礎を作る上で重要であり、このために、日本側に本センター活動体制支援のための専門委員会の設置等が検討されることも望まれる。

(2) 機材の保守契約の締結

本センターにはパーソナルコンピューター、複写機、印刷機等が設置される予定であるが、定期点検を実施し、機材の故障を未然に防止するために、メーカー代理店との間で保守契約を締結することが必要である。

(3) 研究予算の確保

センター設立当初においては、教育文化省高等教育総局の特別予算が支弁されることになっているが、研究活動のさらなる発展のためには、研究業務の受託、内外の民間企業、機関からの寄付金の募集等による研究資金の調達についてセンター自身の努力が期待される。

資料編

資 料 編

1.	調査団の構成.	A-2
2.	調査日程.	A-4
3.	面談者リスト.	A-8
4.	協議議事録.	A-11
5.	インドネシアにおける日本研究機関リスト.	A-24
6.	インドネシア派遣専門家リスト (1967～1986)	A-28
7.	国際交流基金対インドネシア大学事業実績・計画.	A-29
8.	インドネシア大学文学部日本研究プログラムスタッフリスト.	A-30
9.	高等教育関連施策予算 1993/1994年.	A-31
10.	インドネシア大学予算 1991/1992、1992/1993年.	A-32
11.	敷地測量図.	A-33
12.	敷地土質調査資料.	A-34
13.	インドネシア大学マスタープラン施設面積規準.	A-39
14.	インドネシア大学における研究機関調査報告書.	A-40
15.	インドネシア共和国基本指標.	A-68

1. 調査団の構成

1-1. 基本設計調査（1993年 2月 9日～ 3月 3日）

官団員

調 査 団 長	三好 皓一	国際協力事業団無償資金協力調査部 基本設計調査第二課 課長
計 画 管 理	半沢みちる	国際協力事業団無償資金協力業務部 計画課

コンサル団員

建 築 計 画	松田 清一	(株)マツダコンサルタンツ
研究・運営計画	高井 京一	(株)マツダコンサルタンツ
建 築 設 計	竹内 明彦	(株)マツダコンサルタンツ
設備設計・施工 計画 / 積 算	河辺 泰章	(株)マツダコンサルタンツ
機 材 計 画	久保田修平	(株)マツダコンサルタンツ

1-2. 基本設計調査ドラフト報告書現地説明（1993年 6月 9日～ 6月19日）

官団員

総 括 城田 実 外務省アジア局南東アジア第二課課長補佐

無償資金協力 福田 昇弘 国際協力事業団無償資金協力調査部基本設計
調査第2課課長代理

文 化 交 流 中郡 錦蔵 外務省文化交流部文化第二課

コンサル団員

建 築 計 画 松田 清一 (株)マツダコンサルタンツ

研究・運営計画 高井 京一 (株)マツダコンサルタンツ

建 築 設 計 竹内 明彦 (株)マツダコンサルタンツ

2. 調査日程

2-1. 基本設計調査日程

日順	月 日 (曜日)	調 査 内 容 ・ 行 程
1	1993年 2月 9日 (火)	(三好団長・半沢) 10:55 成田発 (JL721) 15:45 バンコク着
2	10日 (水)	JICAタイ事務所 タマサート大学等調査
3	11日 (木)	(三好団長・半沢) (松田・高井・竹内) 11:40 バンコク発 (TG413) 11:00 成田発 (GA873) 16:20 ジャカルタ着 16:45 ジャカルタ着
4	12日 (金)	9:00 JICAインドネシア事務所表敬 10:30 在インドネシア日本大使館表敬 13:00 教育文化省高等教育総局表敬 15:00 在ジャカルタ 日本文化センター (国際交流基金) 表敬
5	13日 (土)	9:00 インドネシア大学デボック校訪問・協議 14:00 建設予定地視察
6	14日 (日)	10:00 建設事情及び市場調査 (河辺・久保田) 15:00 資料収集 13:00 成田発 (JL725) 18:40 ジャカルタ着
7	15日 (月)	9:00 インドネシア大学デボック校訪問・協議 11:00 IUC CP視察 15:00 JICA全体会議
8	16日 (火)	9:00 ジャカルタ、インドネシア大学サレンバ校訪問 大学院日本研究科・協議 11:30 バベナス訪問 15:00 日本商工会議所訪問 16:00 大学院本部施設視察
9	17日 (水)	9:00 インドネシア大学デボック校訪問・協議 協議議事録案協議 13:30 文学部、デプロマコース施設内容視察
10	18日 (木)	8:00 団内会議 9:00 インドネシア大学インフラ関連調査 14:00 討議議事録作成 19:00 学長公邸訪問
11	19日 (金)	9:30 JICA事務所全体会議 11:00 在インドネシア日本大使館報告

日順	月 日 (曜日)	調 査 内 容 ・ 行 程
		14:00 教育文化省高等教育総局にて協議議事録署名 15:30 BAPPENAS表敬 16:30 ジャカルタ発 (車輛) 19:00 バンドン着
12	20日 (土)	9:00 パジャジャラン大学日本語研究センター訪問・視察 10:00 パジャジャラン大学文学部訪問 16:30 バンドン発 (車輛) 19:00 ジャカルタ着 (三好団長・半沢) 22:00 ジャカルタ発 (JL726)
13	21日 (日)	10:00 ジャカルタ市場調査 (三好団長・半沢) ・資料収集 7:00 成田着 14:00 団内打合・資料整理
14	22日 (月)	インドネシア大学サレンバ校訪問 9:00 大学院協議 13:30 アメリカ研究センター調査 15:00 ジャカルタ建設資材調査 ローカルコンサルタント打合せ
15	23日 (火)	インドネシア大学デボック校訪問 10:00 サイトにてローカル測量会社に現場説明 12:00 文学部日本語学科訪問・調査 15:00 団内会議、打合資料作成 (高井帰国) 22:00 ジャカルタ発 (JL726)
16	24日 (水)	インドネシア大学サレンバ校訪問 7:00 成田着 9:00 大学院予算及運営費に関し討議 13:00 施設計画内容資料作成
17	25日 (木)	インドネシア大学デボック校訪問 9:00 給排水衛生設備、電気設備、電話設備につき調査 16:00 団内打合、資料整理
18	26日 (金)	インドネシア大学サレンバ校訪問 9:00 施設計画内容、運営計画、資料収集、協議 14:00 国際戦略問題研究所訪問・資料収集 16:00 維持管理費資料作成 (河辺・久保田帰国) 22:00 ジャカルタ発 (JL726)
19	27日 (土)	インドネシア大学サレンバ校訪問 7:00 成田着 12:00 質疑回答書受領 大学院日本研究プログラム協議・確認 16:00 国立感染症センター現場視察

日順	月 日 (曜日)	調 査 内 容 ・ 行 程
20	28日 (日)	10:00 ローカルコンサルタント打合 (類似センター活動状況調査) 14:00 施設計画、運営費打合せ資料作成
21	3月 1日 (月)	インドネシア大学デボック校訪問 9:00 施設計画、維持管理計画協議・確認 11:00 経済学部施設調査 16:00 J I C A事務所報告
22	2日 (火)	9:00 在インドネシア大使館報告 11:00 ローカルコンサルタント打合せ 22:00 ジャカルタ発 (JL726)
23	3日 (水)	7:00 成田着

2-2. ドラフト報告書現地説明日程

日順	月 日 (曜日)	調 査 内 容 ・ 行 程
1	1993年 6月 9日 (水)	(松田・高井・竹内) 11:00 成田発 (GA873) 16:25 ジャカルタ着
2	10日 (木)	10:00 JICA事務所 到着報告・打合せ 11:00 大使館表敬 14:00 教育文化省高等教育総局 表敬・ドラフト概要説明
3	11日 (金)	8:30 インドネシア大学 (サレンバ校) 表敬・ドラフト説明
4	12日 (土)	10:30 インドネシア大学デボック校訪問 ドラフト説明・協議、施設計画現場説明、ドラフト協議
5	13日 (日)	(城田団長・福田・中郡) 13:00 成田発 (JL725) 18:20 ジャカルタ着 20:00 団内打合せ
6	14日 (月)	9:00 JICA事務所 到着報告・ドラフト内容に関する協議 10:00 大使館表敬 15:00 教育文化省高等教育総局 表敬・ミニッツ案協議
7	15日 (火)	9:00 インドネシア大学 (デボック校) 表敬 ドラフト最終協議・ミニッツ案協議 19:00 インドネシア大学副学長・ドラフト最終調整
8	16日 (水)	10:00 教育省高等教育総局 ミニッツ署名 18:00 JICA事務所報告
9	17日 (木)	14:00 大使館及び日本側関係者との協議 (松田・高井・竹内) 23:20 ジャカルタ発 (GA872)
10	18日 (金)	8:30 成田着 (城田団長・福田・中郡) 18:50 ジャカルタ発 (JL722)
11	19日 (土)	8:30 成田着

3. 面談者リスト

1. インドネシア国関係

1) 教育文化省高等教育総局

Prof. Dr. Sukadji Ranuwihardjo

Former Director General, Directorate
General of Higher Education

Prof. Dr. Bambang Soehendro

Director General, Directorate General
of Higher Education

Ir. F. B. Meweng Kang

Secretary, Directorate General of
Higher Education

2) インドネシア大学

Prof. Dr. Sujudi

Rector

Prof. M. K. Tadjudin, M.D.

Vice Rector for Academic Affairs

Mr. Legowo, SE., MSM

Vice Rector for Administration
and Finance

Prof. Dr. Iskandar Wahidiyat

Director of Graduate Program

Dr. F. A. Moeloek dr.

Dupty Director I
Graduate Program

Mr. M. Soebekti, drg.

Dupty Director II
Graduate Program

Dr. Siti Dahsiar Anwar

Dupty Director III
Graduate Program
Head of Japanese Studies

Dr. Dorodjatun Kuntjoro-Jakti

Dupty Dean for Academic Affairs,
Faculty of Economics

Dr. I. Ketut Surajaya, MA.

Dupty Dean for Students Affairs,
Faculty of Letters

Dr. Gondomono

Head of the Department of East Asian
Studies Faculty of Letters

Ms. Darsimah Mandah, SS., MA.	Head of Japanese Studies Program Faculty of Letters
Mr. Sheddy N. Tjandra, MA.	Lecuturer, Japanese Studies Program Faculty of Letters
Dr. Ir. Gunawan Tjahjono, IAI., MA.	Head of the Study Program of Buildings and Environment, Faculty of Engineering
Dr. Soleh Kosela	Head of the Department of Chemistry, Faculty of Physics and Mathematics
Dr. Bagyo Y. M.	Director Computer Science Center
Dr. Bobby A. A. Nazief	Computer Science Center
Dr. H. M. Tahir Azhary	Faculty of Law
Dr. S. O. Sri Widodo	Faculty of Medicine
Ir. Ketut Alit	Head of the Department for the Const- ruction of the New Campus of UI
Ir. Ruswan Rasul	Department for the Construction of the New Campus of UI
Ir. Djoko Hartono	Department for the Construction of the New Campus of UI
3) バジャジャラン大学	
Prof. Dr. Partini Sardjono-Pr.	Guru Besar Fakultas Sastra UNPAD
H. Drs. Itang Koernaedi Munajat	Director, The Center for Japanese Language Studies
Drs. Nandang Rahmat, MA.	Jurusan Asia Timur Program Studi Bahasa dan Sastra Jepang

4) B A P P E N A S

Mr. Hidayat Syarief

Head Bureau of Education
and Culture

National Development Planning
Agency

2. 日本国関係

1) 日本国大使館

藤田 公郎

高須 幸雄

森 敏光

佐野 利男

大槻 達也

浜田 雄二

特命全權大使 インドネシア駐割

公使

参事官

一等書記官

一等書記官

一等書記官

2) J I C A インドネシア事務所

高橋 昭

熊谷 晃

斎藤 直樹

蔵方 宏

Dr. Nishino Setsuo

インドネシア事務所所長

インドネシア事務所次長

インドネシア事務所次長

インドネシア事務所

JICA専門家（教育文化省高等教育総局）

3) ジャカルタ日本・文化センター（国際交流基金）

西田 郁夫

所長

インドネシア大学大学院

楠 正弘

客員教授（東北大学名誉教授）

4) 日本商工会議所ジャカルタ事務所

斎藤 利治

所長

4. 協議議事録

4-1 基本設計調査

MINUTES OF DISCUSSIONS
BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR
ESTABLISHMENT OF THE CENTER FOR JAPANESE STUDIES
AT THE UNIVERSITY OF INDONESIA
IN THE REPUBLIC OF INDONESIA

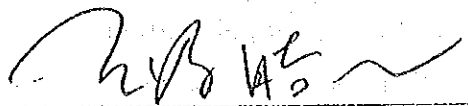
Based on the results of the Preliminary Study, the Japan International Cooperation Agency (JICA) decided to conduct a Basic Design Study on the Project for establishment of the Center for Japanese Studies (hereinafter referred to as "the Project").

JICA sent to the Republic of Indonesia a study team, which is headed by Mr. Koichi Miyoshi, Director of Basic Design Study Division II, Grant Aid Study and Design Department, JICA, and was scheduled to stay in the country from 11 February to 2 March, 1993.

The team held discussions with the officials concerned of the Government of Indonesia and conducted a field survey at the study area.

In the course of discussions and field survey, both parties have confirmed the main items described on the attached sheets. The team will proceed to further works and prepare the Basic Design Study report.

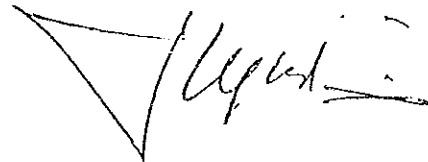
Jakarta, February 19, 1993



Koichi Miyoshi

Leader

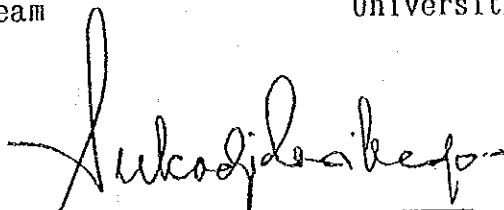
Basic Design Study Team
Japan International
Cooperation Agency



Prof. Dr. Sujudi

Rector

University of Indonesia



Prof. Dr. Sukadji Ranuwihardjo

Director General

Directorate General of Higher Education
Ministry of Education and Culture
Republic of Indonesia

ATTACHMENT

1. Objective

The objective of the Project is to establish the Center for Japanese Studies at the University of Indonesia, and thereby to promote Japanese studies in Indonesia in line with the research university policy of the University of Indonesia.

2. Function and Activity

The core program of the Center will be as follows:

- (1) Graduate program
- (2) Research program

In addition, the Center will conduct the following activities:

- (1) Non-graduate program
- (2) Collecting and supplying information
- (3) Publishing and disseminating the results of research activities
- (4) Promoting exchange between Indonesian and Japanese research institutes

3. Project Site

The project site is located within complex of Depok campus of the University of Indonesia. (The project site map is attached as Annex I.)

4. Executing Agency

The University of Indonesia is responsible for implementation of the Project.

5. Organization of the Center

Organization chart and staff numbers of the Center are shown in Annex II.

6. Necessary items for the realization of the Project

After discussions between both sides, the following items were confirmed necessary for the realization of the Project. The final items and details necessary for the Project, however, will be decided after further studies.

(1) Construction of the main facilities of the Center

a. Research and academic facilities

Researchers' room

Visiting scholars' room

Lecturers' room

Graduate students' room

Lecture room

Seminar room

Library

b. Administrative facilities

Administration office

Meeting room

c. Accommodation facilities (24 persons)

Bed room

Canteen

(2) Provision of equipment

a. Data processing equipment

b. Audio-visual equipment

c. Printing equipment

d. Office equipment

e. Books



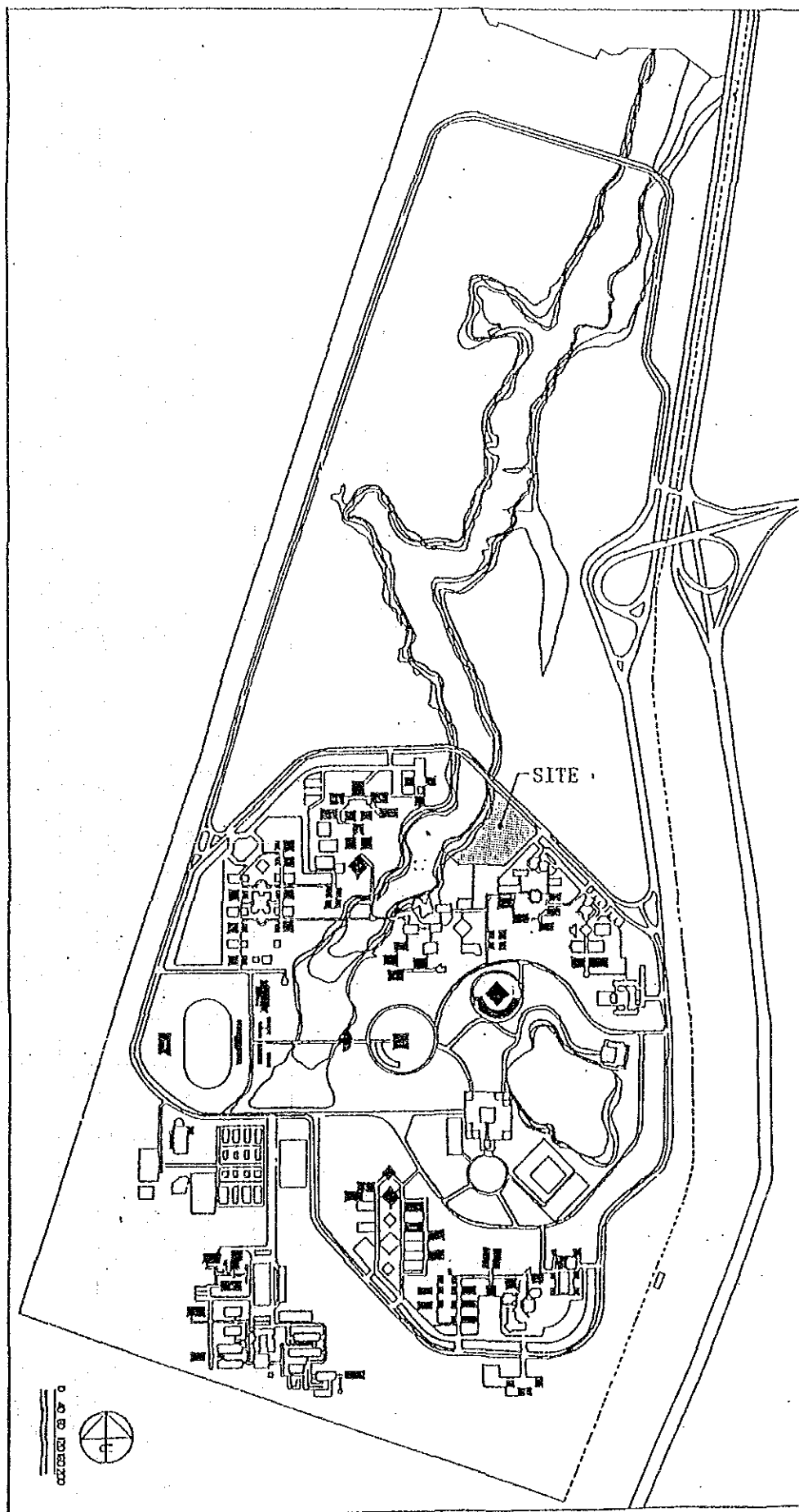
7. Japan's Grant Aid System

- (1) The Indonesian side has understood the system of Japanese Grant Aid explained by the team.
- (2) The Indonesian side will take necessary measures, confirmed in Annex III for smooth implementation of the Project, on condition that the Grant Aid Assistance by the Government of Japan is extended to the Project.

8. Schedule of the Basic Design Study

- (1) The team will proceed to further studies in Indonesia until March 2, 1993.
- (2) JICA will prepare the draft report in English and dispatch a mission in order to explain its contents around middle of May, 1993.
- (3) In case that the contents of the report is accepted in principle by the Indonesian side, JICA will complete the final report and send it to the Government of Indonesia by September, 1993.

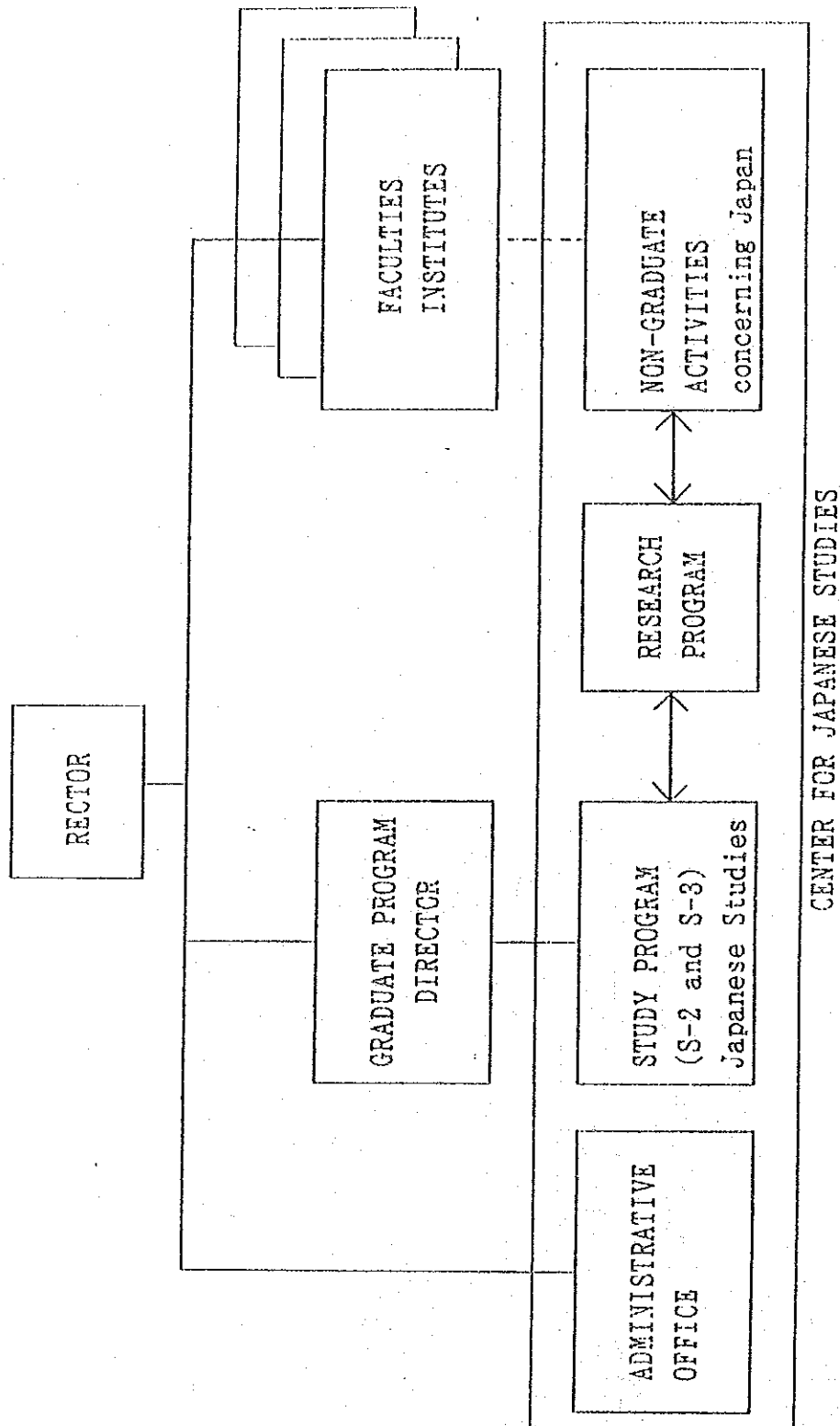
Annex 1 : Site map



SITE PLAN

ANNEX II

ORGANIZATION CHART



ANNEX II -2

Projected Staff Allocation for the Center

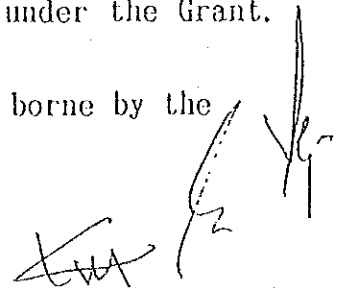
	No. of staff
Executive Director	1
Vice Executive Director	1
sub-total	2
Administrative Staff	
Director of Administration	1
Secretary	3
Clerk	6
Accountant	2
Typist	3
Librarian	2
Information Conductor	3
Technician	5
sub-total	25
Research and Academic Staff	
Cordinator for Graduate Program	1
Cordinator for Research Program	1
Cordinator for Non-graduate Activities	1
Academic Consultant	1
Proffesor/Researcher	24
Visiting Scholar	6
Lecturer	12
sub-total	46
total	73

Handwritten signature and initials, possibly 'H. H.' or similar, located in the bottom right corner of the page.

ANNEX III. Necessary measures to be taken by the Government of
Indonesia

1. To secure adequate number of personnel and budget necessary for the operation of the Center.
2. To secure the site for the Project.
3. To clear, level and reclaim the site prior to commencement of the construction.
4. To undertake incidental outdoor works such as gardening, fencing, gates and exterior lighting in and around the site.
5. To construct the access road to the site prior to commencement of the construction.
6. To provide facilities for distribution of the electricity, water supply, telephone, drainage, sewage and other incidental facilities to the Project site.
 - 1) Electricity distributing line to the site
 - 2) City water distribution main to the site
 - 3) Drainage main to the site
 - 4) Telephone trunk line to the main distribution panel of the building
 - 5) General furniture such as carpets, curtains, tables, chairs and others
7. To bear commissions to the Japanese foreign exchange bank for the banking services based upon the Banking Arrangement.
8. To ensure prompt unloading and customs clearance at ports of disembarkation in Indonesia and internal transportation therein of the products purchased under the Grant.
9. To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies including V.A.T. (value added tax) which may be imposed in Indonesia with respect to the supply of the products and services under the Verified Contracts.

10. To accord Japanese Nationals whose services may be required in connection with the supply of products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into Indonesia and stay therein for the performance of their work.
11. To maintain and use properly and effectively that the facilities constructed and equipment purchased under the Grant.
12. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant.

Handwritten signatures and initials, including a large 'KWA' and a vertical signature on the right.

MINUTES OF DISCUSSIONS
BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR
ESTABLISHMENT OF THE CENTER FOR JAPANESE STUDIES
AT THE UNIVERSITY OF INDONESIA
(CONSULTATION ON A DRAFT REPORT)

In February, 1993, the Japan International Cooperation Agency (JICA) dispatched a Basic Design Study Team on the Project for Establishment of the Center for Japanese Studies at the University of Indonesia (here-in-after referred to as "the Project") to Indonesia, and through discussions, field survey, and examination of such results in Japan, has prepared a Draft Report of the Study.

In order to explain and to consult to the Indonesian side on the components of the Draft Report, JICA sent to Indonesia a consultation team, which is headed by Mr. Minoru SHIROTA, Assistant Director, Second Southeast Asia Division, Asian Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs, and is scheduled to stay in the country from the 9th to the 18th of June, 1993.

As a result of discussions, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

Jakarta, the 16th of June, 1993

For the Rector



Mr. Minoru SHIROTA

Team Leader

Draft Report Consultation Team

JICA

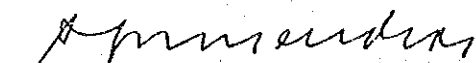


Mr. Legowo, SE., MSM.

Vice Rector for

Administration and Finance

University of Indonesia



Prof. Dr. Ir. Bambang Soehendro

Director General

Directorate General of Higher Education

Ministry of Education and Culture

Republic of Indonesia

A T T A C H M E N T

1. Components of Draft Report

The Indonesian Side has agreed and accepted in principle the contents of the Draft Report proposed by the team.

2. Japan's Grant Aid System

(1) The Indonesian Side has understood the system of Japan's Grant Aid explained by the team.

(2) The Indonesian Side will take the necessary measures described in Annex, for smooth implementation of the Project on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

3. Further Schedule

The Team will make a Final Report in accordance with the confirmed items, and send it to the Indonesian Side by September, 1993.

ANNEX

NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY INDONESIAN SIDE

1. To secure adequate number of personnel and budget necessary for operating the Center properly and effectively;
2. To secure the site for the Project;
3. To clear the site prior to commencement of the construction;
4. To undertake incidental outdoor works such as gardening, fencing, gates and exterior lighting in and around the site;
5. To construct the access road to the site prior to commencement of the construction;
6. To provide followings, and other incidental facilities to the Project site;
 - 1) Electricity distributing line,
 - 2) Main city water distribution line,
 - 3) Main drainage line,
 - 4) Telephone trunk line to the main distribution panel of the Center,
 - 5) General furniture such as carpets, curtains, tables, chairs and others;
7. To bear commissions to the Japanese foreign exchange bank for banking services based upon the Banking Arrangement;
8. To ensure prompt unloading and customs clearance at ports of disembarkation in Indonesia and internal transportation therein of the products purchased under the Grant;
9. To exempt Japanese nationals or Japanese judicial bodies engaged in the Project from customs duties, internal taxes and other fiscal levies including V.A.T. (Value Added Tax) which may be imposed in Indonesia with respect to the supply

of the products and services under the Verified Contracts;

10. To accord Japanese Nationals whose services may be required in connection with the supply of products and the services under the verified contracts, such facilities as may be necessary for their entry into Indonesia and stay therein for the performance of their work;
11. To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and repaired, and equipment purchased under the Grant Aid;
12. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant Aid.

67/18

5. インドネシアにおける日本研究機関リスト

Institution Related to Japanese Studies in the Republic of Indonesia

-
- 1) Address
 - 2) Organizational Description
 - 3) Undergraduate Major and Minor in Japanese Studies or East Asian Studies
 - 4) Periodicals and Publication
 - 5) Future Perspectives
-

1. Universities

(1) East Asia Department Japanese language and Literature Studies Program Faculty of Letters Padjadjaran University

- 1) Jalan Dipati Ukur No.35, Bandung, Indonesia
- 2) Program for Japanese Language and Literature Studies
- 3) -
- 4) -
- 5) The establishment of Japanese Language Center at Jatinagor (1987)

(2) Japanese Program Studies Department of East Asia Faculty of Letters University of Indonesia

- 1) Kampus UI, Rawamangan, Jakarta Timur, Indonesia
- 2) Program for Japanese Studies
- 3) -
- 4) Pranata dan Kebudayaan Jepang (The Japanese Studies Series, 5 Vol., until 1980)
Sejarah Kesusastraan Jepang (History of Japanese Literature, translations, teks-books 1983)
Kamus Sejarh Jepang Modern (Dictionary of Modern Japanese History teks-books 1981)
- 5) The establishment of post graduate studies (master and doctor course) in near future

(3) Japanese Language and Literature Education Program Faculty of Language and Literature Education Institute of Education and Science Bandung

- 1) Jalan Setiabudi No.229, Bandung, Indonesia
- 2) Institute, undergraduate level (S1), teachers education for Senior High School

- 3) -
 - 4) -
 - 5) To improve Japanese language teaching methods for Senior High School education
- (4) Japanese Language and Literature Education Program Faculty of Language and Literature Education Institute of Education and Science Manado
- 1) Kampus IKIP, Jalan Jusuf Hasir, Kleak, Manado, Indonesia
 - 2) Institute, undergraduate level (S1), teachers education for Senior High School
 - 3) -
 - 4) -
 - 5) -
- (5) Japanese Department Institute of Education and Science Surabaya
- 1) Kampus Ketintang, Surabaya, Indonesia
 - 2) Institute, undergraduate level (S1), teachers education for Senior High School
 - 3) -
 - 4) -
 - 5) -
- (6) Japanese Language Program Studies Faculty of Letters National University
- 1) Jl. Sawo Manila, Pejaten, Pasar Minggu, Jakarta Selatan, Indonesia
 - 2) Program for Japanese and cultural Studies, undergraduate level
 - 3) -
 - 4) -
 - 5) -

2. Academy

(1) Academy of Japanese Language and Culture

- 1) Jalan Jendral Sudirman (Samping Polda Metro Jaya), Jakarta, Indonesia
- 2) Academy of Language, Foundation
- 3) -
- 4) -
- 5) Preparation for university, undergraduate level

(2) Academy of Foreign Language Swadaya

- 1) Jalan Yose Rizal, No.3A, Medan, Sumatra Utara, Indonesia
- 2) Language Course
- 3) –
- 4) –
- 5) –

(3) Language Course Mulawarman University

- 1) Jalan P. Flores, No.1, Kotak Pos 68, Samarinda, Indonesia
- 2) –
- 3) –
- 4) –
- 5) –

(4) Evergreen Japanese Course

- 1) Jalan Kartini II, No.34 b, Jakarta, 10710, Jakarta, Indonesia
- 2) Language Course, private
- 3) –
- 4) –
- 5) To improve Japanese language proficiency by the native speaker

(5) Japanese Language and Culture Course

- 1) Jalan Purnawarman No.15, Bandung, Indonesia
- 2) Language course, foundation
- 3) –
- 4) –
- 5) To improve Japanese language proficiency

(6) Yapari Foreign Language Academy Bandung

- 1) Jalan Purnawarman No.24, Bandung, Indonesia
- 2) Languages course, foundation
- 3) –
- 4) –
- 5) To improve Japanese proficiency in practical used, especially in field of tourism

3. Other Institution

(1) Institute for Economic and Social Research Faculty of Economics University of Indonesia

- 1) Jalan salemba Raya No.4, Jakarta Pusat, 10430
- 2) Research center
- 3) --
- 4) --
- 5) --

(2) National Institute for Cultural Studies - LIPI

- 1) Widya Graha - LIPI
Jalan Jendral Gotot Subroto No.10, Jakarta Selatan, Indonesia
- 2) Research center
- 3) --
- 4) --
- 5) To improve research on Japanese culture and politics

(3) Center for Japanese Studies

- 1) Universitas Nasional
Jalan Sawo Manila, Pejaten, Pasar Minggu, Jakarta Selatan, Indonesia
- 2) Research center
- 3) --
- 4) --
- 5) Translation books on Japan into Indonesian language

(Source; JAPANESE STUDIES IN THE REPUBLIC OF INDONESIA
by Dr. I. Ketut Surajaya)

6. インドネシア派遣専門家リスト (1967~1986)

Japanese Expert Provided by the Japanese Government and the Japan Foundation (1967-1986)

No.	Name	Institution	Period
1.	Arakawa Nobuko	IKIP Bandung	1983 - 1985
2.	Ayusawa Takako (Prof.)	FSUI	1985 - 1986
3.	Fukuda Yoshikazu (Prof.)	UNPAD	1985 - 1986
4.	Fumiko Muliarto	IKIP Bandung	1975 - 1979
5.	Fuyuko Sugiyono	IKIP Bandung	1968 - 1970
6.	Hara Hiroko	FSUI	1967 - 1968
7.	Hara Kimi (Prof.)	FSUI	1980 - 1981
8.	Hara Tadahiko (Prof.)	FSUI	1967 - 1968
9.	Hara Teruyoshi	FSUI	1982 - 1984
10.	Hagiwara Sachiko	IKIP Surabaya	1981 - 1983
11.	Hirabayashi Teruo	IKIP Manado	1982 - 1983
12.	Hiyane Teruo (Prof.)	FSUI	1984 - 1985
13.	Ide Tsuneo (Prof.)	UNPAD	1984 - 1985
14.	Kakinuma Atsuko	UNPAD	1982 - 1984
15.	Kamiya Tadataka (Prof.)	FSUI	1981 - 1982
16.	Kanie Hideaki (Prof.)	FSUI	1978 - 1980
17.	Kanemoto Setsuko	IKIP Bandung	1982 - 1983
18.	Kawase Ikuo	UNPAD	1963 - 1967
19.	Kimura Kazuaki (Prof.)	FSUI	1984 - 1985
20.	Kitazumi	FSUI	1973 - 1974
21.	Kunishi Akiko	UNPAD	1979 - 1981
22.	Kusunoki Masahiro (Prof.)	FSUI	1970 - 1971 (first) 1982 (3 month scd.) 1985 - 1986 (third)
23.	Kondo Isao	UNPAD	1974 - 1978
24.	Kosigi Shoichi (Prof.)	FSUI	1973 - 1974
25.	Matsumoto Toshio	UNPAD	1979 - 1974
26.	Morita Yoshiyuki (Prof.)	UNPAD	1979 - 1980
27.	Nagazumi Akira (Prof.)	FSUI	1968 - 1969
28.	Noge Masahiro (Prof.)	FSUI	1976 - 1978
29.	Ohmi Masatoshi	Univ. Erlangga	1977 -
30.	Okumura Mitsue (Prof.)	UNPAD	1981 - 1982
31.	Sasaki Koji (Prof.)	FSUI	1985 - 1986
32.	Sasaki Shigetsugu (Ass. Prof.)	FSUI	1972 - 1973
33.	Shibata Norio	FSUI	1973 - 1977
34.	Shiina Kazuo	UNPAD	1967 - 1970
35.	Shinnai Akiko	IKIP Bandung	1979 - 1980
36.	Sugitani Akira (Prof.)	FSUI	1977 - 1978
37.	Sumio Nagaho	UNPAD	1963 - 1965
38.	Tachibana (Prof.)	FSUI	1972 - 1973
39.	Taguchi Mamoru (Ass. Prof.)	FSUI	1972 - 1973
40.	Tajiri Eizo (Ass. Prof.)	UNPAD	1980 - 1981
41.	Takamatsu Masao (Prof.)	UNPAD	1983 - 1984
42.	Tanabe Yoshiaki (Prof.)	UNPAD	1983 (3 months)
43.	Takeuchi Keiichi (Prof.)	FSUI	1975 - 1977
44.	Tamura Sadao (Prof.)	FSUI	1983 - 1984
45.	Tanaka Akira (Prof.)	FSUI	1980 - 1981
46.	Taniguchi	UNAS	1983 - present
47.	Yamae Taisuke (Prof.)	FSUI	1982 - 1983
48.	Yatsumoto Kenko (Prof.)	FSUI	1978 - 1979
49.	Yazawa Michiko	IKIP Bandung	1985 - present
50.	Yuasa Yasuo (Prof.)	FSUI	1979 - 1968
51.	Yoshida Teigo (Prof.)	FSUI	1967 - 1968
52.	Zennyoji	UNPAD	1985 - 1986

Note: FSUI = Faculty of Letters University of Indonesia

UNPAD = Padjadjaran University

UNAS = National University

(Source: JAPANESE STUDIES IN THE REPUBLIC OF INDONESIA by Dr. I. Ketut Surajaya)

7. 国際交流基金対インドネシア大学事業実績・計画

	事業内容	昭和63年度 (1988年度)	平成元年度 (1989年度)	平成2年度 (1990年度)	平成3年度 (1991年度)
海外における 日本研究	1. 日本研究 客員教授派遣	文学部 (1) 楠正弘 (東北大学名誉教授) 1985.8~ (2) 及川敬一 (北海道工業大学教授) 1988.6~ (3) 原田貞義 (岩手大学教授) 1987.6~1988.6	文学部 (1) 楠正弘 (東北大学名誉教授) 1985.8~1989.7 (2) 及川敬一 (北海道工業大学教授) 1988.6~1989.9 (3) 塚谷周次 (札幌大学助教授) 1989.9~1990.9	文学部 (1) 佐藤彰 (静岡県立大学教授) 1990.9~1991.9 (2) 塚谷周次 (札幌大学助教授) 1989.9~1990.9	文学部 (1) 佐藤彰 (静岡県立大学教授) 1990.9~1991.9 (2) 及川敬一 (北海道工業大学教授) 1992.1~1992.3
	2. 日本研究講師等 フェローシップ	(1) ジョニー・フタババート 文学部 1989.3~1990.1 イクエー・ラワンダ 文学部 1989.3~1990.3	(1) ジョニー・フタババート 文学部 1989.3~1990.1 (2) イクエー・ラワンダ 文学部 1989.3~1990.3	(1) エルマ・マンダ 文学部 1991.3~1992.3 (2) ヨビエ・ワングニア 政治社会学部 1992.1~1993.1	(1) エルマ・マンダ 文学部 1991.3~1992.3 (2) ヨビエ・ワングニア 政治社会学部 1992.1~1993.1
	3. 学部学生 スカラシップ	文学部 12名	文学部 12名	文学部 12名	文学部 12名
	4. 大学院留学 スカラシップ		バクチアル・アラム 文学部 1989.9~1991.8 (ハーバード大学博士課程)	バクチアル・アラム 文学部 1989.9~1991.8 (ハーバード大学博士課程)	バクチアル・アラム 文学部 1989.9~1991.8 (ハーバード大学博士課程)
	5. 訪日研修助成		文学部 1989.7 (20名)		文学部 1991.5 (16名)
	6. リサーチ・会議等 助成			文学部 1990.4 日本文学入門テキスト作成	
	7. 拠点機関助成		大学院学部日本研究プログラム 開設準備費用	大学院学部日本研究プログラム 包括助成 (運営費・研究費・奨学金)	大学院学部日本研究プログラム 包括助成 (運営費・研究費・奨学金)
	8. その他	文学部 図書購入費助成			

(出典：国際交流基金)

8. インドネシア大学文学部日本研究プログラムスタッフリスト

Qualification of the teaching staff of the program of the Japanese Studies Faculty of letters UI

No.	Name	Year of Study	University	Field of Study	Award of scholarship
1.	Sheddy M Tjandra MA	1970-1974 1974-1976 1987-1988	Tokyo Gaikokugo Daigaku Hiroshima Daigaku Tohoku Daigaku	Japanese language Linguistics Translation	Monbusho Monbusho The Japan Foundation
2.	Dr. Siti Dohsjar Anwar	1972-1973 1978-1980	Tohoku Daigaku Tohoku Daigaku	Folk religion Folk religion	Monbusho The Japan Foundation
3.	Ermar Mandah SS	1971-1973 1973-1974 1991-sekarang	Tokyo Gaikokugo Daigaku Tohoku Daigaku Tohoku Daigaku	Japanese language Literature Literature	Monbusho Monbusho The Japan Foundation
4.	Darimah Mandah SS, MA	1972-1973 1981-1988	JICA Tokai Daigaku	Japanese language Literature	Colombo Plan The Japan Foundation
5.	Ansar Anwar SS	1972 (3 bulan) 1973-1974 1979-1980 1987 (7 minggu)	Kokusai Gakuyukai Tohoku Daigaku Saga Daigaku Center for Japanese language	Japanese language History of Meiji History of Education Japanese language	Dep. Luar Negeri Jepang Monbusho The Japan Foundation The Japan Foundation
6.	Yenny Simulya SS, MA	1973-1974 1978-1981 1989 (7 minggu)	Tohoku Daigaku Hirosabashi Daigaku Center for Japanese language	Japanese society Japanese society Japanese language	Monbusho Monbusho The Japan Foundation
7.	Dr. I Kent Sarjaya MA	1976 (6 bulan) 1975-1982	Osaka Gaikokugo Daigaku Hirosabashi Daigaku	Japanese language History	Monbusho Monbusho
8.	Diah Madubrangti SS	1973 (7 minggu) 1974-1975 1983-1987 1985-1986	Center for Japanese language Tokyo Gaikokugo Daigaku Tokyo Gaikokugo Daigaku	Japanese language Japanese language Japanese language	The Japan Foundation Monbusho The Japan Foundation
9.	Jonnie Rasmada Muabarat MA	1972-1977 1977-1979 1983-1987 1989-1989	Tokyo Gaikokugo Daigaku Kanazawa Daigaku Tsukuba Daigaku Minzoku Hakubutsukan and Tohoku Daigaku	Literature Literature Philosophy Literature	Monbusho Monbusho The Japan Foundation The Japan Foundation
10.	Adi Soodiono Abdurachman	1968-1973 1990 (7 minggu)	Tokyo Gaikokugo Daigaku Center for Japanese language	Language and literature Japanese language	Monbusho The Japan Foundation
11.	Ery Murchayati Anwar SS, MA	1987-1989 1990 (3 bulan)	Tsukuba Daigaku social structure Minzoku Hakubutsukan	Marriage systems and family systems	Minzoku Hakubutsukan
12.	Musadeg Bachiri SS	1985-1987	Waseda Daigaku	History	Monbusho
13.	Ferry Rustam SS	1988-19..	International Christian University	History	Nihon Shoken Kaisha
14.	Endah Mayumi Wulandari SS	1986-1987 1991 (7 minggu)	Nanzan Daigaku Center for Japanese language	History Japanese language	Nanzan Daigaku The Japan Foundation
15.	Sri Ratnamingah SS				
16.	Bachiar Alan SS, MA	1988-19..	Harvard University - USA	Society	The Japan Foundation
17.	Lea Sanjar Sari SS, MA	1988-1991	Naruto Kyokko Daigaku	Japanese language	Monbusho
18.	Bandung Wibawars SS	1991-	Tohoku University	Literature	Monbusho

9. 1993/1994年 高等教育関連施策予算1993/1994年

予算総額: Rp. 1,275,228,000,000

国家予算: Rp. 996,406,000,000

海外機関借款: Rp. 278,822,000,000

	国家予算 (百万 Rp.)	借款 (百万 Rp.)
A. 経常支出	336,100	-
B. 会社からの資金と支出	130,500	-
C. 教育開発予算	350,000	278,822
1. 政府間協定に基づくもの	84,930	264,758
(1) 大学間施設向上プロジェクト (WBXVII)	900	-
(2) 会計士教育向上プロジェクト (WBXX)	6,500	26,740
(3) 海外援助の大学向上プロジェクト (WBXXI)	14,390	82,048
(4) スリヴィジャヤ大学向上プロジェクト (ADB)	6,500	5,400
(5) 海洋学教育開発プロジェクト (ADB)	4,620	57,500
(6) 6大学開発プロジェクト (SUDR-ADB)	10,960	24,170
(7) 小学校教員教育開発プロジェクト	5,260	14,000
(8) OECF借款 (IPB, ITB, Unsyiah)	4,860	54,900
(9) 外国協力 (ワトロフ/無償) のための準備金	31,420	-
① IAEUP (オーストラリア)	3,450	-
② USAID (アメリカ)	4,460	-
③ JICA (日本)	3,810	-
④ CIDA (カナダ)	4,100	-
⑤ イギリス	4,000	-
⑥ その他	11,600	-
2. 第5次国家開発5ヵ年計画優先プロジェクト	44,470	14,064
(1) 大学院 (S2) (WBXXI)	10,684	8,747
(2) 大学院 (S3) (WBXXI)	2,038	1,693
(3) 工学修士促進 (WBXXI)	4,201	3,438
(4) D-III MIPA (WBXXI)	228	186
(5) 計画・組織化運動	3,300	-
(6) 大学教員 (資格向上) 養成	1,900	-
(7) その他教育関連	1,800	-
(8) 教育制度	20,129	-
3. 第5次国家開発5ヵ年最終年度経常プログラム	220,600	-
(1) マネージメントプログラム	3,600	-
(2) 用地取得・整備費	20,400	-
(3) 環境整備・インフラ建設費	24,200	-
(4) 校舎建設費	109,900	-
(5) 家具・備品・図書費	62,500	-
D. 教育人材養成予算	20,500	-
E. 特別プログラム予算	128,556	-
1. 実施と維持	750	-
2. 学術・技術向上		-

(1992年度教育文化省通達「プログラム調整覚え書き」による)

10. インドネシア大学予算 (1991/1992、1992/1993年)

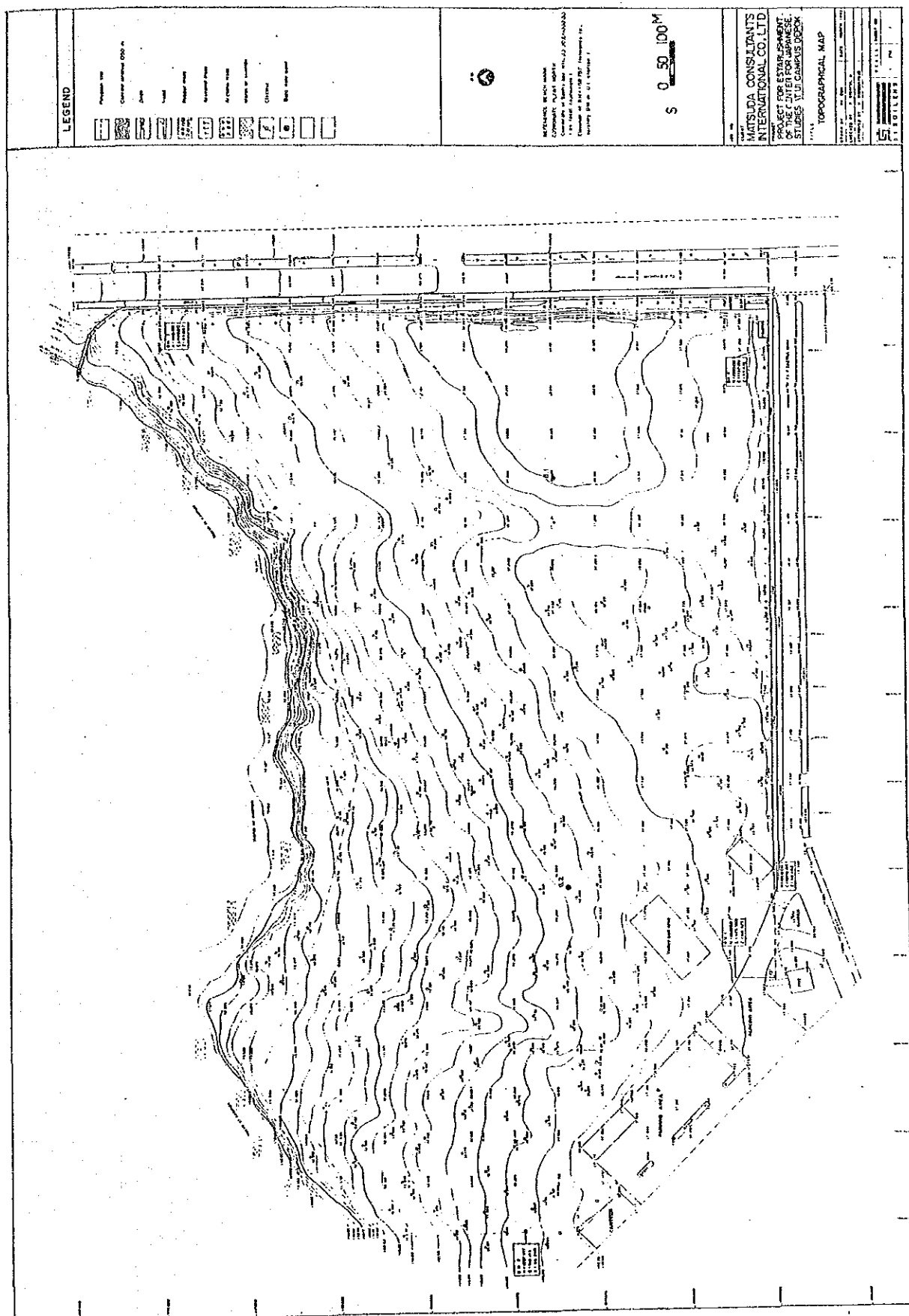
General Budget of the UI (1991/1992, 1992/1993)

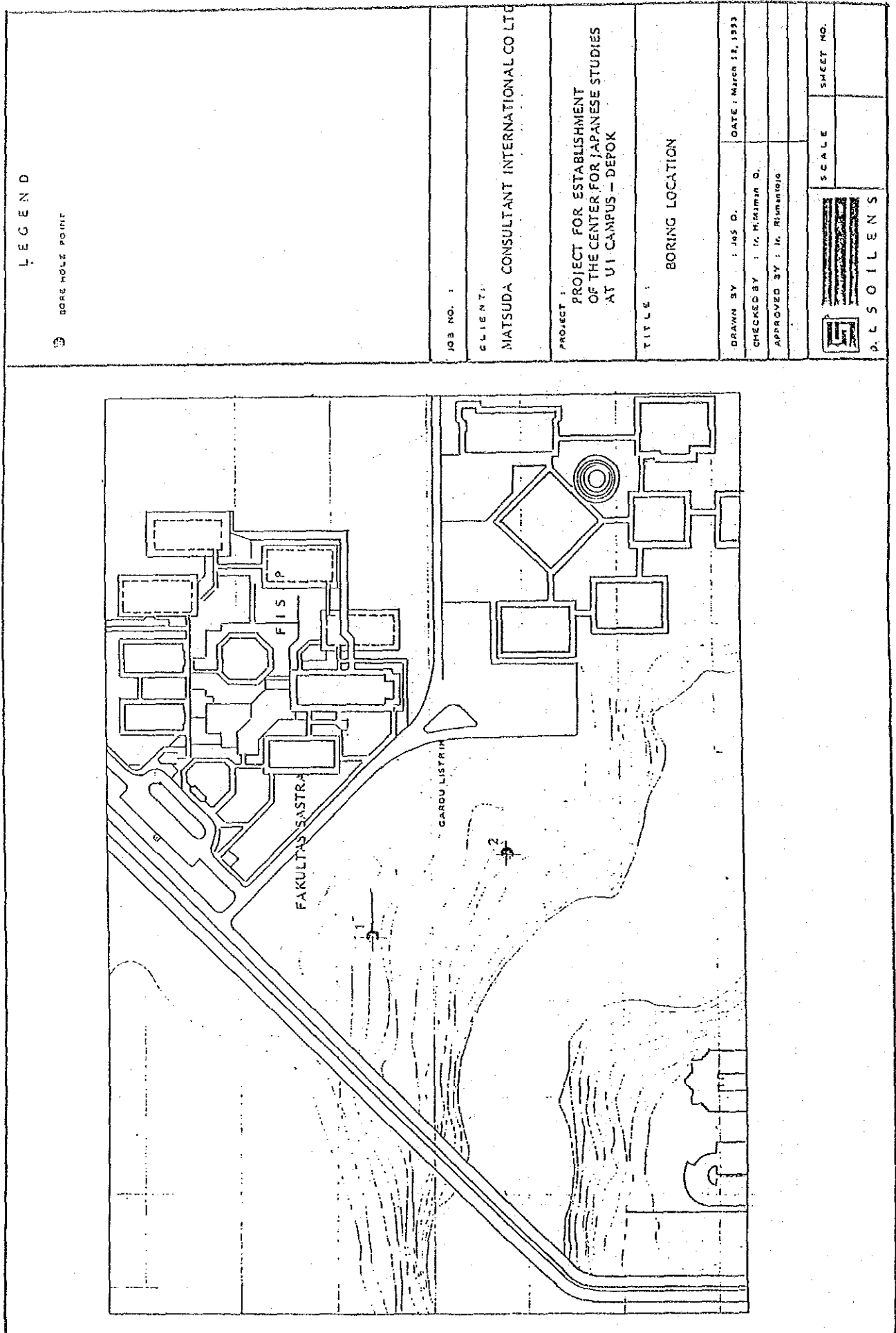
Tahun Akademis	PENDIDIKAN		PENELITIAN		PENGABDIAN PADA MASYARAKAT		KEMAHASISWAAN		PENYELENGGARAAN ADMINISTRASI		TOTAL DANA	
	Sumber	Dana	Rp.	Persen (%)	Rp.	Persen (%)	Rp.	Persen (%)	Rp.	Persen (%)	Rp.	Persen (%)
1991/1992	DPP		2,664,918	66.59	265,700	6.64	129,328	3.23	253,755	6.34	688,290	17.20
	RUTIN		345,500	2.36	0	0.00	0	0.00	0	0.00	14,284,065	97.64
	DIP	(APBN)	2,042,232	31.67	2,042,232	31.67	0	0.00	0	0.00	2,364,993	36.67
		(RPLN)	1,552,894	49.90	1,552,894	49.90	0	0.00	0	0.00	6,500	0.21
		(PP)	775,081	100.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
1992/1993		(PL)	0	0.00	775,081	28.18	0	0.00	0	0.00	1,975,250	71.82
	OPF		1,926,531	63.53	263,000	8.68	138,500	4.57	701,861	23.16	3,029,892	100.00
			9,307,156	26.78	4,898,907	14.10	267,828	0.77	253,755	0.73	20,020,959	57.62
	DPP		2,874,430	63.88	327,750	7.28	196,200	4.36	286,620	6.37	815,000	18.11
	RUTIN		360,000	2.32	0	0.00	0	0.00	0	0.00	15,186,030	97.68
1992/1993	DIP	(APBN)	3,342,742	41.13	0	0.00	0	0.00	0	0.00	4,785,488	58.87
		(RPLN)	2,321,597	86.77	0	0.00	0	0.00	0	0.00	353,950	13.23
		(PP)	284,884	100.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
		(PL)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	433,807	100.0
			748,818	15.52	510,620	10.58	197,395	4.09	50,840	1.05	3,317,212	68.75
Jumlah DPP:			9,932,471	27.29	838,370	2.30	393,595	1.08	337,460	0.93	24,891,487	68.40
Jumlah Rutin:			13,492,837	64.36	1,283,720	6.12	745,098	3.55	1,243,594	5.93	4,200,832	20.04
Jumlah DIP:			2,662,822	2.79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	92,656,696	97.21
Jumlah DPP:		(APBN)	18,434,122	16.13	2,415,142	2.11	54,000	0.05	145,280	0.13	93,212,206	81.58
		(RPLN)	19,587,445	63.70	3,374,219	10.97	0	0.00	0	0.00	7,788,871	25.33
		(PP)	1,059,965	100.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
		(PL)	1,255,033	1.63	775,081	1.01	0	0.00	0	0.00	74,753,340	97.36
		(OECE)	2,217,303	16.80	464,100	3.52	301,830	2.29	0	0.00	10,211,805	77.39
Jumlah OPF:			42,553,868	18.03	7,028,542	2.98	355,830	0.15	145,280	0.06	185,966,222	78.78
Total:			3,657,308	31.08	961,660	8.17	363,395	3.09	50,840	0.43	6,734,270	57.23
Total:			62,366,835	17.13	9,273,922	2.55	1,464,323	0.40	1,439,714	0.40	289,588,020	79.53
Total:											364,102,814	100.00

(Source: UNIVERSITAS INDONESIA)

1 1. 敷地測量図

TOPOGRAPHICAL MAP OF THE PROJECT SITE





PROJECT		ESTABLISHMENT OF THE CENTER FOR JAPANESE STUDIES		BORING LOG — P. T. SOILENS					
JOB NO.				PAGE 1 OF 2					
CLIENT		Matsuda Consultants International Co., Ltd.		WATER TABLE : -10.15 M.					
LOCATION		Kampus U. I. Depok		DATE : March 3 to March 4, 1993					
BORE HOLE NO.		1		BORING METHOD : Coring, Sampling					
ELEVATION		+68.224		SAMPLING METHOD: Thin walled (Shelby) Tube					
COORDINATES		E = 1090 N = 1050		SPT : Automatic Hammer					
DEPTH		30.45 m.		DRILLER : D. Sutardja					
				LOGGER : Supriyadi					
SAMPLE DEPTH (M)	USCS CHART	GRAPH SYMBOL	ROCK/SOIL DESCRIPTION	DEPTH (M)	q _s (kg/cm ²)	SPT - N value			RECOVERY (%)
						Depth (m)	BLOWS PER CM	N PER FOOT 10 20	
0.30	CH		SILTY CLAY, brownish red coloured, high plastic, medium stiff.	0.30	3.50				
1.00				1.00	3.00				
1.45				1.45	2.50	1.15	6/30		
2.00				2.00	2.50				
2.45				2.45	3.00	2.15	6/30		
3.00				3.00	3.00				
3.45				3.45	3.00	3.15	4/30		
4.00				4.00	3.00				
4.45				4.45	3.00	4.15	11/30		
4.50				4.50	3.00				
5.00	MH		CLAYEY SILT, reddish brown coloured, medium plastic, soft to medium stiff.	5.00	3.00	5.15	6/30		
5.45				5.45	3.00				
5.50				5.50	3.00				
6.00				6.00	2.00	6.15	4/30		
6.45				6.45	2.00				
6.50				6.50	2.00				
7.00				7.00	2.00	7.15	4/30		
7.55				7.55	2.00				
7.60				7.60	2.00				
8.10				8.10	1.75	8.25	4/30		
8.50	MH		CLAYEY SILT, light brown coloured, low plastic, few fine grained sand, medium stiff.	8.50	1.75				
8.60				8.60	1.75				
8.80				8.80	1.75				
9.10				9.10	1.75	9.35	7/30		
9.65				9.65	1.75				
10.00				10.00	1.75				
10.50				10.50	2.00	10.65	7/30		
11.00				11.00	2.00				
11.50				11.50	2.00	11.65	8/30		
12.00				12.00	2.00				
12.20	ML		TUFFACEOUS SANDY SILT, brown coloured, fine grained sand, stiff.	12.20	2.00				
12.70				12.70	2.00	12.85	5/30		
13.15				13.15	2.00				
13.50				13.50	2.00				
14.20				14.20	3.00	14.35	10/30		
14.75				14.75	3.00				
15.00				15.00	3.00				
15.25				15.25	3.00	15.65	8/30		
15.50				15.50		16.35	17/30		
17.00				SM		CEMENTED SAND, brown coloured, fine grained, very dense.	17.15		
18.15	18.15							H=00	
19.15	19.15								
20.15	20.15								
21.15	21.15								
21.60	21.60								
21.75	21.75								
21.90	21.90								
22.00	22.00								
22.45	22.45								
END OF THIS PAGE. CONTINUED TO THE NEXT PAGE.									

PROJECT				ESTABLISHMENT OF THE CENTER FOR JAPANESE STUDIES		BORING LOG		P. T. SOILENS		
JOB NO.						PAGE 2 OF 2				
CLIENT				Matsuda Consultants International Co., Ltd.		WATER TABLE : -10.15 M.				
LOCATION				Kampus U. I. Depok		DATE : March 3 to March 4, 1993				
BORE HOLE NO.				1		BORING METHOD : Coring, Sampling				
ELEVATION				+68.224		SAMPLING METHOD: Thin walled (Shelby) Tube				
COORDINATES				E = 1090 N = 1050		SPT : Automatic Hammer				
DEPTH				30.45 m.		DRILLER : D. Sutardjo				
						LOGGER : Supriyadi				
SAMPLE	DEPTH (M)	USCS CHART	GRAPH SYMBOL	ROCK/SOIL DESCRIPTION		DEPTH (M)	q _u (kg/cm ²)	SPT - N value		RECOVERY (%)
								Depth (m)	BLOWS PER CM	N PER FOOT
	22.00	SM		0 1 1 1 0				22.15	20/30	
	24.00							23.15	72/30	
				SANDSTONE, dark blackish gray coloured, completely to moderately weathered, medium massive, hard.				24.00	50/10	N > 100
								25.00	50/14	N > 100
								26.15	50/5	N > 100
	27.00			SILTSTONE, dark gray coloured, completely to moderately weathered, trace sandstone layer, moderately hard.				27.00	50/5	N > 100
								28.00	50/13	N > 100
								29.00	50/8	
	30.45			END OF THIS BORING. CASING BOOWN TO -20.00 METERS DEPTH.				30.15	91/30	

PROJECT : ESTABLISHMENT OF THE CENTER FOR JAPANESE STUDIES				BORING LOG - P. T. SOILENS					
JOB NO. : CLIENT : Matsuda Consultants International Co., Ltd.				PAGE 1 OF 2					
LOCATION : Kampus U. I. Depok				WATER TABLE : -7.25 M.					
BORE HOLE NO. : 2				DATE : February 27 to March 3, 1993					
ELEVATION : + 65.682				BORING METHOD : Coring, Sampling					
COORDINATES : E = 996 N = 1047				SAMPLING METHOD: Thin walled (Shelby) Tube					
DEPTH : 30.45 m.				SPT : Automatic Hammer					
				DRILLER : O. Sutardjo					
				LOGGER : Supriyadi					
SAMPLE	DEPTH (M)	USCS CHART	GRAPH SYMBOL	ROCK/SOIL DESCRIPTION	DEPTH (M)	S _u (kg/cm ²)	SPT - N value		RECOVERY (%)
							Depth (m)	BLOWS PER CM	
0.30	0.00	CH		SILTY CLAY, brownish red coloured, high plastic, medium stiff.	0.30	2.50			
1.00	2.00								
1.50	2.00				1.20	3/30			
2.20	2.00								
2.65	2.00				2.35	5/30			
3.35	2.00								
3.80	2.00								
4.50	4.00	MH		CLAYEY SILT, reddish brown coloured, medium plastic, soft to medium stiff.	4.50	2.00			
4.95	2.00				4.65	6/30			
5.00	2.00								
5.50	2.00								
5.95	2.00				5.65	5/30			
6.00	2.00								
6.50	2.00								
6.95	2.00								
7.00	2.25								
7.50	3.00								
7.95	3.00								
8.00	2.50								
8.50	2.50	MH		CLAYEY SILT, light brown coloured, low plastic, few fine grained sand, medium stiff.	8.50	3.00			
9.00	3.00								
9.50	3.00								
9.95	3.00								
10.00	3.00								
10.70	3.00	MH		TUFFACEOUS SILT, yellowish brown coloured, few fine grained sand, medium stiff.	10.70	3.00			
11.15	4.00				10.85	5/30			
11.90									
12.50									
13.00	13.00	SM		TUFFACEOUS SILTY SAND, brown coloured, fine to medium grained sand, medium dense.					
13.65					13.65	12/30			
14.65					14.65	25/30			
15.65					15.65	31/30			
16.15					16.15	40/30			
17.15					17.15	35/30			
18.15		18.15	16/30						
19.15		19.15	15/30						
20.15		20.15	12/30						
21.55		21.55	67/30						
21.00	21.00	SM		SILTY SAND, brownish gray coloured, fine grained sand, medium dense.					
21.40	21.40								
21.40	21.40			SANDSTONE, dark blackish gray coloured, fine grained sand, completely weathered, soft rock.					
22.00	22.00			END OF THIS PAGE. CONTINUED TO THE NEXT PAGE.					

PROJECT : ESTABLISHMENT OF THE CENTER FOR JAPANESE STUDIES				BORING LOG P. T. SOILENS					
JOB NO. : CLIENT : Matsuda Consultants International Co., Ltd.				PAGE 2 OF 2					
LOCATION : Kampus U. I. Depok				WATER TABLE : -7.25 M.					
BORE HOLE NO. : 2				DATE : February 27 to March 3, 1993					
ELEVATION : +65.682				BORING METHOD : Coring, Sampling					
COORDINATES : E = 996 N = 1047				SAMPLING METHOD: Thin rolled (Shelby) Tube					
DEPTH : 30.45 m.				SPT : Automatic Hammer					
				DRILLER : D. Sutardja					
				LOGGER : Supriyadi					
SAMPLE	DEPTH (M)	USCS CHART	GRAPH SYMBOL	ROCK/SOIL DESCRIPTION	DEPTH (M)	q _u (kg/cm ²)	SPT - N value		RECOVERY (%)
							Depth (m)	BLOWS PER CM	
	22.00			0 1 1 1 0			22.15	101/28	
							23.00	50/10	
							24.15	68/30	
							25.15	41/30	
	26.00			SILTSTONE, dark gray coloured, completely to moderately weathered, medium massive, found sandstone layer, moderately hard.			26.15	50/10	
							27.15	50/15	
							28.15	50/10	
							29.15	50/10	
	30.45			END OF THIS BORING. CASING DOWN TO -26.00 METERS DEPTH.			30.15	75/30	

13. インドネシア大学マスタープラン施設面積規準
Standard Norm for Spaces

Space	Aj. Metric	UNESCO (UNAIR)	World Bank	Chosen
Big lecture hall	—	1.7m ² /student	—	1.0m ² /student
Seminar	—	2.8	—	2.8
Lecture room 20 seats	—	—	2m ² /student	2.0
40	—	2.1	1.7 - 2.0	1.7 - 2.0
60	—	—	1.7	1.7
80	—	—	1.0 - 1.5	1.2 - 1.5
100	—	—	1.0 - 1.2 - 1.5	1.0 - 1.2
150	—	—	0.8	0.8
Psychology Lab.	—	9.8	—	9.8
Social and Political Sci.	—	—	—	1.2 - 3
Agricultural Construction	—	—	—	3.5 - 5
Technology	—	—	—	5.6
Medical Science	—	—	—	0 - 10
Rector's office	—	—	—	35 - 50
Vice rector's office	—	—	—	25 - 30/person
Dean's office	—	20m ² /person	—	20
Professor	15m ² /person	—	—	18 - 21
Lecturer	7.5	—	—	9 - 11
Associate Lecturer	5	—	—	6 - 7
Student Assistant	2.7	—	—	3 - 4
Meeting room	2.5	1.9m ² /person	—	1.9 - 2.5
Secretarial room	—	33.8m ²	—	20
Office	4.5	18	—	4.5
Library	1.6	Library users are estimated at 25% of the total student body		1.6
Book space	1m ² /150 vol.	—	—	1m ² /150 vol.
Storage room	—	0.45m ² /student	—	0.45m ² /student
Hall and gallery	—	—	—	25-35% of effective space area

Source: UNIVERSITAS INDONESIA DEPOK CAMPUS MASTER PLAN 1984

14. インドネシア大学における研究機関調査報告書

本調査は、インドネシア大学日本研究センター設立計画基本設計調査において、本センターと類似する施設の活動状況を調査することにより、本センター設立計画の策定にあたり、より妥当性のある計画実施後の運営体制を計画、提言することを目的として行ったものである。

調査の対象としてはインドネシア大学アメリカ研究センター、IUC-コンピューターサイエンスを重点として調査した他、同大学の全ての研究機関についてその概要調査を行った。

調査した研究機関は以下の通りである。

I. 学長に直属する研究機関

1. AMERICAN CENTER
2. IUC-COMPUTER SCIENCE
3. CENTER FOR LANGUAGE BUILD-UP AND DEVELOPMENT
4. AUSTRARIAN CENTER
5. REGIONAL CENTER FOR NUTRITION
6. IUC-ECONOMICS
7. IUC-SOCIAL SCIENCE

II. 大学研究局に属する研究機関

(INSTITUTE OF RESEARCH UI)

1. CENTER FOR HEALTH RESEARCH
2. CENTER FOR HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCE
3. CENTER FOR RESEARCH IN SCIENCE AND TECHNOLOGY
4. CENTER FOR RESEARCH OF DEVELOPMENT
(DEVELOPMENT ARRANGEMENT RESEARCH CENTER)
5. CENTER FOR RESEARCH OF HUMAN RESOURCES AND ENVIRONMENT
6. CENTER FOR RESEARCH IN CHILD SURVIVAL

III. 学部付属研究所

1. INSTITUTE OF TECHNOLOGY, FACULTY OF ENGINEERING
2. INSTITUTE OF ECONOMICS AND SOCIAL STUDIES,
FACULTY OF ECONOMICS
3. INSTITUTE OF MANAGEMENT, FACULTY OF ECONOMICS
4. INSTITUTE OF DEMOGRAPHY, FACULTY OF ECONOMICS
5. INSTITUTE FOR APPLIED PSYCHOLOGY,
FACULTY OF PSYCHOLOGY
6. INSTITUTE FOR SOCIAL STUDIES,
FACULTY OF SOCIAL AND POLITICAL SCIENCES

AMERICAN CENTER

A. ESTABLISHMENT

The American Center was established and organized under the graduate program in 1980 start to receive students and activity in operation in 1981.

The Center is located at Salemba Campus University of Indonesia.

B. OUTLINE

In the early 70's a need was felt for specialists in area studies. There are courses offered with an American content at University of Indonesia, such as American literature at the English Department, American History at the History Department, Faculty of Letters; and American Government at the Political Science Department, Faculty of Social and Political Sciences.

In 1975, the feasibility of establishing American Studies courses and an American Studies program was discussed. This discussion resulted in a workshop which was held in July 1976 through the assistance of the USIS Jakarta. This two-week workshop, which was held at the Lembaga Indonesia-America and was sponsored by the Department of State, conducted by Dr. Linda Keller-Brown, ignited the American Studies program in Indonesia.

This workshop resulted into a proposal of an inter-Faculty, interdisciplinary Institute for the purposes of;

1. offering a Study Program in American Studies (i.e. a major);
2. offering a minor concentration in American Studies for non-majors (e.g., students in the Faculty of Social and Political Sciences);
3. engaging in research about the United States and,
4. engaging in research in comparative Culture study, with particular attention to the relationship between the United States and Indonesia.

In anticipation of the establishment of the American Studies Institute, the Faculty of Letters decided to start American Studies as a major for the undergraduate students, with an emphasis on literature, history and

culture, in August 1976.

This undergraduate program phased out in 1980, because the American Studies program was made a graduate program.

In developing the American Studies program at the undergraduate level, USIS Jakarta has been of great assistance, especially with regard to the Fulbright program in Indonesia. Many faculty members of the University of Indonesia had the opportunity to pursue graduate and post-graduate studies in the United States on a Fulbright grant or on a Ford Foundation grant. With regard to the American Studies program, since 1977, there has been a visiting American Fulbright professor, who would teach several courses and give consultation to the Indonesian faculty to develop American Studies courses. Throughout the years there had been regular visiting American speakers who would speak on a great variety of topics, thus introducing the wide variety of aspects of the American culture.

In 1979, preparations were being made to establish the first graduate program of American Studies in Indonesia. The program which enable interested Indonesians to pursue academic work pertaining to American society and civilization leading to the Master of Arts(M.A) degree. In order to ensure a wide geographical distribution of opportunities to pursue American Studies in Indonesia and widest geographical impact of the program, students were going to be recruited from among graduates from universities and other institutions of higher education in the various areas of the Indonesian Archipelago.

The recruitment started in January 1981 and in August 1981, the American Studies graduate program started.

C. ORGANIZATION

The American Center is a unit directly reporting to the Rector c.q. Vice Rector for Academic Affairs of the University of Indonesia.

Its activities are carried out by "Pusat Kajian Wilayah Amerika" (American Studies Center). A core staff comprising staff members from the University of Indonesia as well as professionals from outside the University.

D. CONTENTS OF FACILITIES

- Building : (Refer to the attached sheet)

The building of Program of American Area Study of University of Indonesia in Rawamangun Complex was utilized from year 1980 to 1990, its physical building and library, seminar room, class room, computer room, administration room got aids from;

University of Indonesia / United States of American Embassy in Indonesia / United States Entrepreneurs in Indonesia / Indonesia Entrepreneur.

- Equipment :

- Office equipment

- Library

There are now 7,000 volumes and 28 periodical subscriptions.

Three major fields are covered in this collection;

1. Social sciences (20%): political sciences, economics, law,
US Government
2. Literature (30%) : History and Criticism, poetry, drama, fiction
3. History (32%) : geography, biography, American history
4. Other fields : the Arts, music

E. ACTIVITIES

- Academic program

American studies graduate program

1. Objectives

- To prepare the participants, who are faculty members of a University, to teach American culture in their respective Universities, or to work as American specialists in Governmental or private institutions.
- To produce experts at a Magister level who possess an expertise in interdisciplinary field in studying the American culture.
- To prepare graduates who have interest and capability to expand his knowledge to Doctoral level.

2. Entrance requirements

- General requirements:

- a. any university graduate from state or private universities with a legalized diploma, may apply.
- b. the candidate should have at least a passive knowledge of English.
- c. the candidate should pass the entrance examination held by a selection committee.

3. Curriculum

- Semester I : 1. Introduction to American Studies
(13 credits) 2. The American Past to the Civil War
3. The Geography of the United States
4. American Studies Bibliography
5. American Literature (topical)
- Semester II : 1. American Literary Renaissance
(14 credits) 2. Sociology
3. The U.S. from the Civil War to the Present
4. Men and Culture in America
5. American Folklore
- Semester III : 1. American Pop Culture
(12 credits) 2. American Literature / History (topical)
3. American Intellectual History
4. Reading Courses (Directed Reading)
- Semester IV : 1. Final seminar and thesis
(16 credits) 2. Elective (Directed Reading)
- American Politics
- American History (specific aspect)
- American Literature (specific)

Each participant should take a set of core courses and a number of elective courses supporting his major interest, which amount to at least 46 semester credits within 4 semesters, consisting of a minimum of 36 credits and an MA thesis (10 credits).

4. Students

At present there are 17 Magister level students following this program.

5. Tuition

The cost of tuition for one semester is US\$ 600 or US\$ 1,200/year. Faculty members of State Universities could get a grant from the Ministry of Education & Culture.

- Staff development

Throughout the years, faculty members of various faculties at the University of Indonesia had the opportunities to do their graduate studies in the United States.

Many of them had received their MA. or PhD. in their respective fields such as Sociology, Anthropology, Folklore, Political Science, Communication etc. On their return to Jakarta, they are utilized to contribute their respective knowledge in their particular fields that are related to the American Studies.

The program has been sending young faculty members to the United States through the help of USIS Jakarta to pursue MA graduate studies programs. For the senior faculty members there are opportunities to go to America or Japan for " refresher course".

From 1985, the Fulbright committee is recruiting two candidates to receive scholarships for PhD. degrees in American Studies in the United States.

- Extracurricular activities

Graduates, who have a further interest in American Studies, formed an association in 1984, which is called Assosiasi Studi Amerika di Indonesia (ASAI. Indonesian American Studies Association). The Center is used as their headquarters.

Activities among others have been programmed to invite prominent Indonesian speakers to give a talk on American-Indonesian relationships, or speak on a particular aspect of America, e.g. on

American Education; America in Indonesian foreign policy and Indonesia in American foreign policy; on economics; and on American pop-culture. This forum has formed the core of Indonesians who have a great interest in the development of Indonesian-American relationships. By organizing these small events the American Studies shall function as meeting place of people who have a genuine interest in America. An annual journal and a monthly newsletter have been publishing by ASAI.

The Association is also planning to do a survey research on The American Image in Indonesia; to do an inter-disciplinary seminar on the subjects of the American-Indonesian relationships.

Regularly, once a week, the center shows American movies, followed by a group discussion. These movie sessions are usually attended by faculty members, undergraduate and graduate students.

F. STAFF ALLOCATION BY SECTOR

Presently this program is supported by 21 highly respectable teachers consisting of 17 Indonesians and 4 expatriates.

Although this program has only one typist, much of the works are supported by the Graduate Program.

Teaching staff;

Prof. Harsja W. Bachtiar, BA., MA., PhD

Prof. Juwono Sudarsono, Drs., MA., PhD

Prof. Dr. James Danandjaja, Drs., MA

Gregory Churchill, J.D.

Dahana, SS., MA., PhD

Parsudi Sparlan., SS., MA., PhD

Dr. I. Ketut Surajaja

Gondomono, Drs., PhD

Harsono Suwardi., Drs., MA

Dr. Soenarjati Djajanegara

Pia Alisjahbana, Dra

Nana Nurliana Soeyono, Dra., MA

Toeti Heraty Noerhadi Roossenno, Dr

Irid Agoes, SS., MA
Mignon W. Moelijono, SS., Magister
Melani Budianta, SS., MA., PhD
Anne Greene, PhD
Rony Bishry, Drs., PhD
Doddy W. Sjahbuddin, PhD
Craig T. Latrell, PhD
Jack W. Meinhard

Board of Directors;

Prof. Dr. Gunawan Wardhana, Dean
Dr. Noerhadi Magetsari,
Coordinator of Graduate Program in literary studies
Ms. Pia Alisjahbana, Dra,
Chairman of the American Studies Program

G. SOURCES

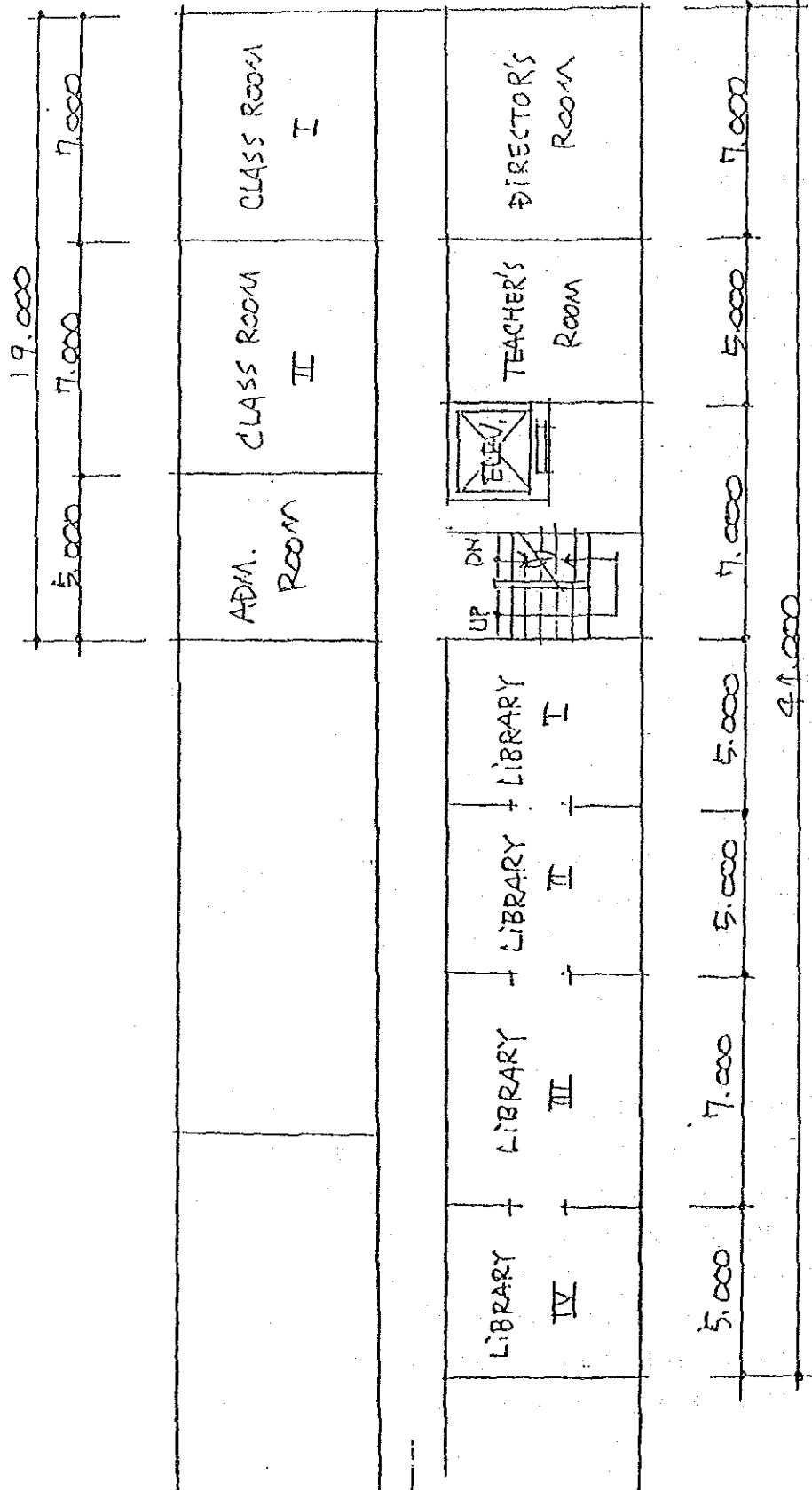
This program has no support from University of Indonesia, but only a small amount of DIP from the Government.

Operation cost is obtained from the education fee to be paid by each students. Further, this program received donation from the American Embassy in form of books, equipment for lecture and furnitures, etc. There was also one case that an Indonesian private firm donated a meeting room complete with the necessary equipment / furnitures.

H. EVALUATION

The American Studies program at the University of Indonesia has come a long way since that most fruitful workshop in 1976. Starting as an undergraduate program, it has now become a graduate program with an inter-disciplinary approach. Even though it has not become an Institute of American Studies, as was proposed in 1976, instead it has become an American Studies Center that has been able to draw the attention of graduates of various disciplines and coming from various universities and higher educational institutions from all over Indonesia.

AMERICAN CENTRE



$\therefore 442 \text{ m}^2$
 Scale = 1:200

ACTIVITIES OF
PROGRAM OF STUDY OF AMERICAN AREA
POST GRADUATE OF UNIVERSITY OF INDONESIA

ACTIVITIES ABROAD

1. STUDY ABROAD

- a. Melani Bidianta.,MA. for PhD. in Cornell USA.
- b. Ratna Mamoto.,MA. for PhD. in East West Center, Hawaii.
- c. Moh. Fuad.,MA. for PhD. in LOWA.
- d. Rony Bishry,MA. for PhD. in Washington.
- f. Doddy W. Sjahbuddin, PhD. for PhD in Minnesota.
- g. Dra. Parwati KRamadibrata for MA. in Washington University.
- h. Futwembun Isaias for MA. in University.

2. RESEARCHES

Hyderabad (India) for 33 weeks

- a. Tuti Indra Malaon Alm
- b. Rusina Sjahrial.,MA
- c. Parwati Kramadibrata.,MA
- d. Forgon Insan Hanief.,MA
- e. Henny Suharyati
- f. Ade s. Natawirya

3. SEMINARS

- a. Doddy W. Sjahbuddin.,PhD. / Parsudi Suparlan.,PhD.
In the Seminar Culture and Society in the United States in American Studies, University of Minnesota 1990.
- b. Doddy W. Sjahbuddin.,PhD.
The 2 nd Annual International Symposium American Studies in the Asia Pacific Region in Tokyo March 25 up to and including April 2, 1991

- c. Dra.Pia Alisjahbana
American Studies' Seminar in Beijing , May 1991 in topic America and the Asia-Pasific Region in the 20th Century.
- d. April 21 1990, Conference Bi-annual Association Federation of KWA in Taipei Taiwan.
Drs.Djoko Moerdiyanto /Parwati Kramadibrata,SS.,MA / Nana Nurliana,SS.,MA
- e. The American Studies Seminar in Manila, September 1985.
Dra.Pia Alisjahbana / John h. Hafner / Melani Budianta
- f. The American Studies Association Conference in Kuala Lumpur in 1988.
Dra.Pia alisjahbana / Anggi Tjetje / Dra.Pratiwi Arianto / Dra.Aris Miyati / Dra.Dwinarni / Drs.Hariyadi Wirawan
- g. The American Studies Association Conference in Bangkok.
Ronny Bishry.,PhD.
- h. Sudarini Suhartono to U.S.A for program American Studies for Educators, June-July 1992.
- i. Nana Nurliana to U.S.A Seminar on Imigration, 24s.

4. LECTURE SERIES IN 1991: (Text and Context Film-film America)

- Sept.23 : The Silent film / The General
- Oct. 1 : Sullivan's Travel
- Oct. 7 : It's Wonderful Life
- Oct. 28 : Singing in the Rain
- Nov. 4 : Comedy 60's
- Nov. 18 : Modern Comedy
- Dec. 13 : The Long Walk Home

5. SCIENTIFIC LECTURES

Lectures Year 1988

- Feb. 9 : Film / Discussion
- Feb. 10 : Parsudi Suparlan, PhD.
- Feb. 17 : John Whiting
Title: American Values in Business Ethics
- April 13 : Clair Wolfowitz
- April 21 : John Guilds
- May 4 : John Guilds
- May 11 : Dr. Stanley Back

Lectures Year 1991 / 1992

- March 8 1991 Speaker : Prof. Dr. Larry R. Ford
Moderator : Drs. Rony M. Bishry, PhD.
Title : Historical Preservation and Urban Design North American Issues.
- March 16 1991 Speaker : Prof. Dr. Harsja W. Bachtiar
Moderator : Parsudi Suparlan, PhD.
Title : Concepts and Theories in Understanding American Culture and Expressions.
- March 22 1991 Speaker : Doddy W. Sjahbuddin, PhD.
Moderator : Dra. Nana Nurliana, S., SS., MA.
Title : American Studies in the U.S. in the special cases in the University of Minnesota.
- April 6 1991 Speaker : Parsudi Suparlan, PhD.
Moderator : Dra. Irid Agoes, MA
Title : Inter-disciplinary Approach in American Studies at the University of Indonesia.
- April 12 1991 Speaker : Prof. Dr. Kenton J. Clynder
Moderator : Anne Greene, PhD.
Title : The Debate on the Proper Role of Government and Historical Review.

- April 26 1991 Speaker : Richard M.D.Gong
 Moderator : Dorojatun Kuntjoro-Jakti, S.E., MA., PhD.
 Title : American Public Diplomacy on Specific
 International Crisis Issues.

- May 3 1991 Speaker : James Castle
 Moderator : Pekerti., PhD.
 Title : The Culture of American Business.

- May 10 1991 Speaker : Mulya Lubis
 Moderator : Erman Radjagukguk, J.S.D.
 Title : Legal Culture in America.

- May 17 1991 Speaker : Prof. James Danandjaja, SS., MA
 Moderator : Arwah Setiawan
 Title : Contemporary American Humor.

- May 31 1991 Speaker : Gondomono, PhD.
 Moderator : Mely g. tan, PhD.
 Title : The Chinese American in the U.S.;
 Culture Background and their
 Assimination.

- June 7 1991 Speaker : Drs. Sarlito W. Sarwono, PhD.
 Moderator : Miniek L Karim, Dra.
 Title : The Psychology of Americans,
 Japanese, Indonesians A Comparison.

- June 14 1991 Speaker : Prof. Dr. Goenawan A. Wardhana, MBA., PhD.
 Moderator : Gregg Churchill, J.D.
 Title : Anti-Trust Act in America;
 An Historical Perspective.

- Feb. 25 1992 Speaker : Roberta Ann Johnson, PhD.
 Moderator : Doddy W. Sjahbuddin, PhD.
 Title : Sexual Harrasment.

- March 3 1992 Speaker : Rberta Ann Johson, PhD.
 Moderator : Doddy W. Sjahbuddin, PhD.
 Title : Why great people do not become President
 of U.S.

- March 18 1992 Speaker : Prof. Emily Stoper PhD.
 Moderator : Roberta Ann Johson PhD.
 Title : Child a Buse : What can be done?

- April 1 1992 Speaker : Prof.Nancy Brendliger
 Moderator : Roberta Ann Johson PhD.
 Title : The Press and Politics.
- May 1 1992 Speaker : Prof.Lawrence J. Starzyk
 Moderator : Roberta Ann Johson PhD.
 Title : How to write effectively.
- Nov. 24 1992 Speaker : Dr.Edward L. Farmer
 Moderator : Gondomono PhD.
 Title : Modern China and the U.S
- Nov. 27 1992 Speaker : Dr.Walter R. Goldschmidt
 Moderator : Parsudi Suparlan PhD.
 Title : Theme in Modern American Culture
- Dec. 3 1992 Speaker : Dr.Garry Smart
 Moderator : -
 Title : Kaleidoscope ; An overview of American Music
- Feb. 5 1992 Speaker : Prof.Dr.William R. Hutchison
 Moderator : Doddy W. Sjahbuddin PhD.
 Title : American/Western Perception of the Non Western Worlds.

INTER UNIVERSITY CENTER FOR COMPUTER SCIENCES

A. ESTABLISHMENT

The Inter University Center was established in 1986, as a project initiated by the Directorate General of Higher Education Ministry of Education and Culture by using the World Bank Loan.

B. OUTLINE

In developing its capability in Computer Science and Technology, UI has pooled and managed centrally all resources to guarantee effective and efficient utilization.

The following units involved in this scheme:

- Computer Science Center (PUSILKOM-UI)
- IUC for Computer Science
- Computing Service Unit (UPT-Komputer)
- Study Program in Computer Science (S-1)
- Graduate Program in Computer Science (S-2 and S-3)

It was realized from the beginning that the development of computer science and computer technology would require a heavy capital investment. As a relatively new discipline, skilled manpower needed to develop computer science is scarce, and thus expensive. Therefore, the University of Indonesia, in developing its capability in computer science and technology, pooled and managed all resources centrally to guarantee effective and efficient utilization.

This approach was implemented by founding the Computer Science Center as the core institution in developing this discipline. The Director of the center reports directly to the Rector of the University of Indonesia. All computer related activities in University of Indonesia are coordinated through this center, which was established in 1972, or at least managed by persons affiliated with the center.

The Inter University Center was established in 1986, as a project initiated by the Directorate General of Higher Education Ministry of Education and Culture by using the World Bank loan. As a leading institution in developing the computer technology, University of Indonesia was chosen as the location of Inter University Center for Computer Science(IUC-CS).

The IUC's Director is also the Director of the Computer Science Center.

Computer education was offered beginning in 1986 with the establishment of a Study Program in Computer Science at the University of Indonesia. The University of Indonesia began offering S-1 level computer science program in 1986. At present the program has graduated 24 S-1 level graduates, and hosts a student body of 160. Since computer science is considered as a new discipline, the program is managed as a separate organization from the existing faculties.

The head of the program, who is also the Director of the Computer Science Center, reports directly to the Vice Rector for Academic Affairs.

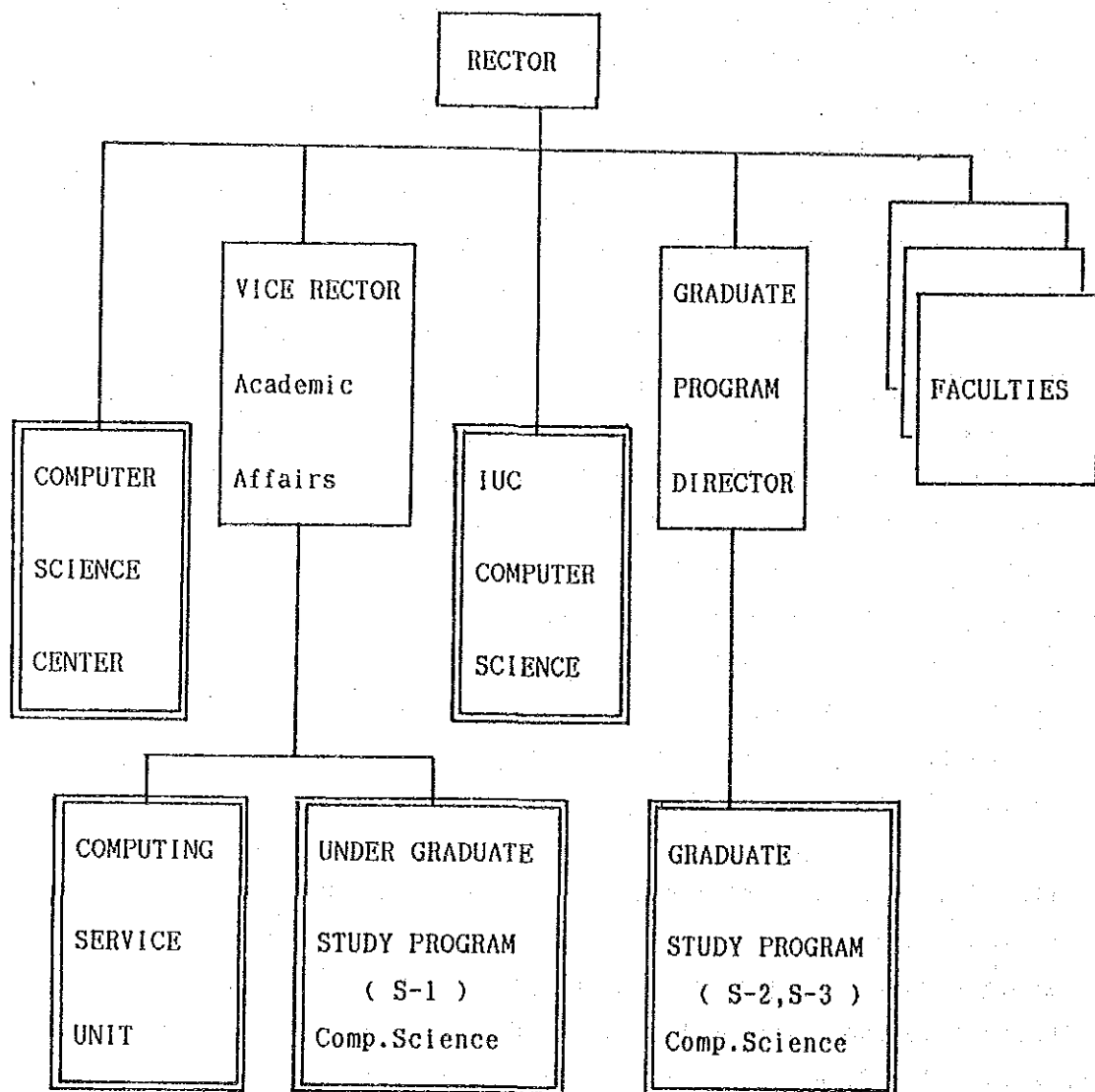
All graduate programs in the academic stream are hosted by the University's Graduate Program. Therefore, the Graduate Program in Computer Science, which was offered beginning in 1988, is also organizationally placed within the Graduate Program jurisdiction. At present the program has graduated 30 S-2 level graduates, with total student body of 42. The head of the Computer Science graduate program is also the Vice Director for Academic Affairs of the Computer Science Center and organizationally reports to the Dean of the Graduate Program. However, since all resources (building, equipment and manpower) used by the program are physically located within the Computer Science Center, he also reports to the Director of the center.

In addition to the services rendered to other government agencies and private industries, the center also provides services to the university administration. Organizationally these services are provided by the University Computing Service Unit(UPT-Komputer). The head of this unit is also the Director of the Computer Science Center.

C. ORGANIZATION & FUNCTIONS

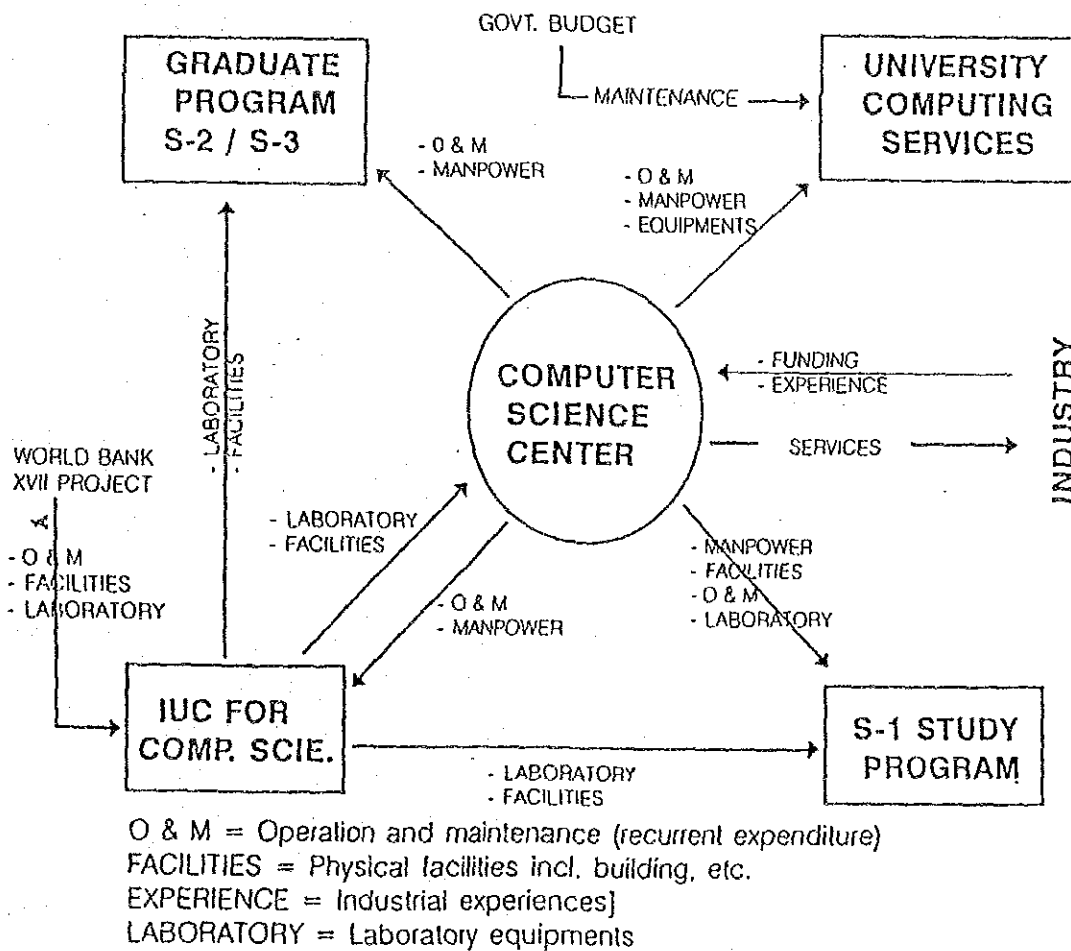
The units involved in education, research and services of computer sciences and technology are organized within one "supra-organization". Figure-1 shows the flow chart of its organization.

Figure-1 Organization



The functions of higher education (education, research, and services) are exhaustively implemented within one "supra-organization". Figure-2 shows the schematic diagram of the flow of resources within this supra organization.

Figure-2



D. CONTENTS OF THE FACILITIES

The two stories, 1,400 s.q.m of building is located in the Depok Campus of UI, the contents of which are as follows;

- Building;
 - Office
 - Lecture rooms
 - Laboratories
 - Researchers' rooms
 - Meeting room
 - Library (7,000 titles, 100 journals)

- Equipment

Type	Vender	Qty.	Capacity Memory Storage		Type of Acquisition
Minicomputer	Digital Corp	1	2Mb	400Mb	Loan
Workstation	Hewlett Packard	6	4Mb		Loan
Supermicro	Samsung	1	1Mb	86Mb	Grant
Supermicro	Intell	1	2Mb	18Mb	Grant
Workstation	SUN Microsystem	6	8Mb	100Mb	Loan
Workstation	Data General	2	2Mb		Loan
Development tools	NOVELL	1set			Grant
Microcomputer	IBM compatible	50	640Kb	20Mb	Self generated
Optical Marked	NCS	2			Self generated
Workstation	IBM compatible	2	8Mb	600Mb	Self generated

E. ACTIVITIES

1. Research program

Activities that can be categorized as "basic research" were usually proposed to be supported by the World Bank XVII project, as the industries are not attracted to sponsor these kind of activities. Examples of such activities are given below:

- Linear Equatation Solution Model for Sparse, Symmetric, and Indefinite Matrix(1990)
- Parallel Algorithm for Sparse and Indefinite Matrix LU Factoring(1991)
- Performance of Runge-Kutta Parallel Method to find solution for Ordinary Differential Equation(1992)

Although activities that can be categorized as "basic research" were proposed to be supported by the World Bank XVII project, some topics sponsored by the Project were also aimed to produce directly implemented results, particularly for research activities that were jointly sponsored by other agencies.

The following are the examples of the jointly sponsored research activities.

- ECAL Project(Extended Computer Aided Learning), where part of the work were done and sponsored by the Open University at Milton Keynes.
- CAL Project, partly sponsored by the UNESCO-Paris.

2. Formal educational program

Undergraduate Program

Following its birth in 1986, the IUC-CS had been assigned to start undergraduate degree program in computer science. A new study program to conduct education and training in computer and information technology and to report its activity directly to the Vice Rector for

academic affairs was established. This study program has produced 24 graduates with Sarjana Ilmu Komputer degree beginning 1991, with the current student enrollment of 160.

Currently all of the IUC-CS fellowship returnees are teaching in the study program, and starting August 1991 most of the basic and major computer science courses offered by the study program were taught by IUC-CS staff with at least MSc degree in computer science. This program is fully supported by the IUC-CS.

Graduate Program

IUC-CS has also started the S-2 program in computer science in the academic year 1988-1989. During the first year of the program a large part of the S-2 program was conducted with the cooperation with, and assistance of, University of Maryland. Up to now the program has produced 30 S-2 graduates with Magister Ilmu Komputer degree, with the current student enrollment of 42. Most of the graduates are staff from other public universities.

Although graduate program is formally conducted by the university's Graduate Program, this program is fully supported by the IUC-CS, in term of manpower, laboratories, library and operational expenditures.

3. Scientific and technological services

The IUC-CS has been rendering scientific and technological services to various agencies and the industrial sector for system development and consultation etc..

4. Training

- Internship
- Seminar
- Short course

5. Instructional Material Development (IMD)

To date the IUC-CS has produced 37 titles in course materials, 28 titles in books / monograph, 32 titles in manuals and 15 titles in models and 14 titles in audio visual. The IUC-CS has taken a decision to undertake an agreement with an outside publisher (PT Gramedia), to publish IMDs developed (mostly books). The allocated World Bank XVII budget to reproduce IMDs was used to buy back a portion of the printed copies (600 for each titles), while the publisher printed 3,000 copies for each titles. To date 10 titles have been published, and an additional contract has been signed to publish 6 more titles.

F. STAFF QUALIFICATION AND STATUS

All staff receive a fixed amount of salary based on their qualifications and responsibilities. The IUC-CS does not allow staff to receive additional income by doing research, teaching, services or other related activities. Honoraria received from the World Bank XVII Project are pooled and considered as an institutional income.

Following table shows qualification and status of the staff.

Qualification by degree	Already active	Studying abroad	Total	Funded by the Project	Status Civil svi.	Non svi. svt.

Academic staff						
S-3	8	11	19	11	7	12
S-2	15	3	18	14	7	11
S-1	11	-	11	-	2	9

Total	34	14	48	25	16	32

Support Staff						
S-1	16	-	16	-	1	15
D-3	15	-	15	-	2	13
SMTA	36	-	36	-	3	33

Total	67	-	67	-	6	61

G. RECURRENT EXPENDITURE (1991-1992)

- Source of fund :
 - Self generated (68 %)
 - Government budget (32 %)
 - includes;
 - World Bank XVII operational budget, which includes consumables, telephone, FAX and honoraria for IUC's officers;
 - DIK is government's routine budget allocation, mainly for civil servant's salaries;
 - Part of graduate student's tuition fee.
- Utilization of acquired fund :
 - Maintenance of building, office equipment, laboratory equipment, subscription of journals, procurement of book, etc.
 - Personnel expenditures, which include supplements for civil servants, and full salary for non civil servants.
 - Operational expenditures, which include consumables, lunch, traveling, etc.

H. EVALUATION OF THE TOTAL ACTIVITIES

- Contemporariness of the activities carried out by the IUC-CS is reflected by its ability to develop linkages and generate income. Linkages with the industrial sectors, National and International agencies require an ability to produce deliverable products.

The success story of the published books illustrates that the IMDs developed by the IUC-CS has become the pattern setter in the Computer Science education in the country. The heavily demanded biennial seminars organized by the IUC-CS shows that papers presented during the gatherings are the state of the art technology, and have a strong impact on the information industries in the country. Although global recognition is still a far away target, linkages developed with various agencies and its fund acquired through the cooperation can reflect the regional and national recognition.

- The first, and currently the only, graduate program in Computer Science

has been conducted by the IUC-CS using its manpower, physical facilities, laboratories and operational budget. This shows total commitment of the IUC-CS to support the graduate program. Resources available at the IUC-CS are the state of the art equipments and manpower. To utilize such resources in trivial activities should be considered too expensive and inefficient. Therefore, to prevent such things to happen the IUC-CS has tried to set a prerequisite in utilizing the resources. Nevertheless, the intensity of the IUC-CS's activity in education, research and rendering services at a higher level sophistication can still reflect the extensiveness of sharing.

Expecting the IUC-CS to produce indigenous technology in the fastest developing discipline in history might be too ambitious, with only 6 years in institutional building. However, implementing the computer technology in Indonesia requires tremendously high quality knowledge and skill to solve unique solution.

The IUC-CS interprets "new fields and frontiers" in this scheme, and the records show the determination in achieving this objective.

It is realized that developing a new discipline, such as Computer Science, requires a strong support from the society. Different kind of support can be expected from various levels of society.

The IUC-CS, therefore, through seminars, speeches, internships, IMDs and trainings, has been trying hard to develop the new awareness and attitude in the society toward the new technology.

- Since the IUC-CS involves in a wide spectrum of activities, space has quickly become the bottle neck. The physical facilities constructed through the project was designed only to accommodate research activities and limited teachings, while the IUC-CS has to host the entire S-1 and S-2 students in addition to research and services. Additional space to host the university's computing service, however, is expected to be constructed in the near future. This construction in the short term can hopefully ease a little bit the problem of space.

インドネシア大学における研究機関の概要

A) 学長直属の研究機関

1. アメリカ研究センター

Center for American Studies

所在地：サレンバ キャンパス

設立：1981年

地域研究としてアメリカの文化、歴史、社会を総合的に研究しており、大学院修士課程プログラムを実施している。

インドネシア・アメリカ研究協会 (ASAI) の本部を本センター内に設置している。

大学院教育の教授陣は21名、管理部門スタッフは11名である。現在、修士課程には17名の大学院生が在籍している。博士課程はまだ開設されていない。

運営資金は基本的に授業料でまかなわれているが、図書、機材の供与、留学費等について、AMINEFF (AMERICAN INDONESIA EXCHANGE FOUNDATION)、ASAIFUNDATIONおよびフォード基金等より支援を受けている。

2. コンピューター研究センター

Center for Computer Science / ICU Computer Science

所在地：デボック キャンパス

設立：1986年

コンピューターサイエンスの技術開発を目的に次の機能を包含する。

コンピューターサイエンスセンター、大学共同利用コンピューターサイエンスセンター、大学学部課程プログラム、大学院課程プログラムおよびコンピューターによる大学業務管理支援。

現在、教授陣および研究員は35名で、この他に14名が外国に留学中である。管理部門スタッフは67名である。大学院修士課程に60名、博士課程に3名が在籍している。運営費の約7割近くは外部からの研究委託費等で実施されている。

3. 語学研究開発センター

Center for Language Build-Up and Development

所在地：ラワマンガン・ジャカルタ・ティルーム

設立：1975年

教育文化省の標準語作成、語学教育政策策定を目的に設立。

インドネシア語と、各地域言語、新・旧文字の研究と編纂、辞書の作成、及び辞書編纂法や言語と文学に関するガイダンス、広報活動を実施している。大学院言語学修士、博士課程教育プログラムを実施するとともに、デンパサール、ジョクジャカルタ、ウジュンパダンの三ヶ所に地域言語研究所を持つ。スタッフ数は全部で124名である。

4. オーストラリア研究センター

Center for Australian Studies

所在地：デボック キャンパス

設立：1991年

地域研究としてオーストラリア研究を目指している。大学院修士課程プログラム開設を準備中。

5. 栄養研究地域センター

Regional Center for Nutrition

所在地：サレンバ キャンパス

設立：1970年

SEAMEO-TROPED (The South East Asian Ministers of Education Organization in Tropical Medicine) のジャカルタセンターとして、地域社会における栄養問題研究と教育研修を行っている。

インドネシア大学内外の研究者、スタッフにより、研究、調査および大学院修士、博士課程とディプロマプログラムを実施している。オランダ、ドイツ、カナダの大学との研究交流を実施している他、IFPRI (International Food Policy Research Institute USA) やマレーシア、フィリピン、タイ国の地域センターとの研究交流を行っている。

大学院教授陣は9名で、現在、大学院生は修士課程11名、博士課程3名が在籍している。

6. 大学共同利用経済研究センター

Inter University Center Economics

所在地：デボック キャンパス

設立：1985年

国内各大学経済関連学部の教育と研究レベルの向上のために、世銀の資金援助で設立された。

経済学基礎理論と経済政策立案を志向した研究と人材の養成（国内、海外留学）、セミナー活動を行っている。

7. 大学共同利用社会科学センター

Inter University Center Social Science

所在地：デボック キャンパス

設立：1985年

国内各大学社会科学関連学部の教育と研究レベル向上のため、上記IUC経済研究センターと同様に設立され、施設も同一である。

B) 大学の学術研究部局に所属する研究機関

1. 衛生研究所

Center for Health Research

所在地：デボック キャンパス

設立：1986年

国民の健康、公衆衛生環境の改善にむけた医学的、疫学的調査、研究と教育、広報活動およびコンサルテーションを行っている。

研究員は15名、職員5名。

2. 人文・社会研究所

Center for Humanities and Social Sciences

所在地：デボック キャンパス

設立：1983年

インドネシアの言語学、文献学、文学、哲学、法学、経済、歴史、心理学、考古学、人類学、社会学を対象に総合的、学際的研究活動を行っており、組織は、研究セクションとセミナーワークショップ、研修セクション、出版セクションに分かれている。

る。研究員は15名、職員5名。

3. 科学技術研究所

Center for Research in Science and Technology

所在地：デボック キャンパス

設立：1984年

物性とエネルギー、工業技術地域開発、排水処理と環境衛生管理、情報管理と標準化システムの5分野で研究及びセミナー活動を行っている。研究スタッフは15名、事務職員は5名。

4. 社会開発研究所

Center for Research of Development

所在地：ペンガンサン・ティルーム

設立：1986年

社会、経済、政治、文化、教育等の各分野における開発課題、開発に伴って生ずる各地域の諸問題および人口問題と人造り教育等を研究かつ、解決策を見出すための機関として関係各省との協同のもとに活動を行っている。大学研究スタッフ8名、外部専門家27名、職員7名。

5. 人材・環境研究所

Center for Research of Human Resources and Environment

所在地：サレンバ キャンパス

設立：1979年

社会・自然環境と人間生態の調和について、人材、人間工学、天然資源、環境管理の4分野で調査、研究セミナー活動および大学院教育プログラムを実施している。

これまでの研究では日本のトヨタ財団の研究資金援助や、IFIAS (International Federation of Institutes for Advance Study)、オランダ デルフト水力研究所などとの協同研究がなされている。研究員30名、職員15名。

6. 児童擁護研究センター

Center for Child Survival

所在地：デボック キャンパス

設立：1989年

児童の健康向上、母性保護改善とそのための研究と、公衆衛生サービスシステムの開発研究を行っている。

C) 各学部付属研究所

1. 工学部付属工学技術研究所

Institute of Technology Faculty of Engineering UI

所在地：サレンバ キャンパス

設立：1976年

工学部の科学技術者により、工学各分野の研究を進めるとともに、工業、運輸、水利、環境等の施設計画、施設建設管理、情報処理システムおよびセミナー活動、技術者養成プログラムを実施している。

2. 経済学部附属経済・社会研究所

Institute of Economic and Social Studies Faculty of Economics UI

所在地：サレンバ キャンパス

設立：1953年

インドネシアの経済開発問題に関し、主としてマクロ経済と社会開発の研究、コンサルテーション、研究成果の出版、経済プロジェクトの策定、評価、計画管理に関する教育研修プログラムの実施および経済開発計画に関する情報収集と広報活動を実施している。

対日経済関係、日本経済についてもインドネシアの経済問題として研究されてきている。

3. 経済学部附属経営研究所

Institute of Management Faculty of Economics UI

所在地：サレンバ キャンパス

設立：1963年

経営問題に関する国立のコンサルテーション組織としてインドネシアで最も歴史が長くかつ、最大の機関の一つである。

活動は、コンサルテーション、研究サービス、システム立案、研修、出版およびアプリケーションソフトの開発を行っており、スタッフはコンサルタント85名、その他職員66名となっている。

運営は独立採算制である。

4. 経済学部附属統計研究所

Institute of Demography Faculty of Economics UI

所在地：サレンバ キャンパス

設立：1964年

経済分野の統計指標に関する研究を通して、現在ではインドネシアにおける人口問題に関する研究と、政府、民間機関に対する研修機関としてはインドネシアの中心的機関となっている。

5. 心理学部附属応用心理学研究所

Institute of Applied Psychology Faculty of Psychology UI

所在地：サレンバ キャンパス

設立：1970年

各組織等の人事管理面に対する心理学的手法による研究支援、セミナー開催による研修・教育活動および児童、青少年、成人等、各年代の心身問題に対する診療活動を実施している。

6. 社会政治学部附属社会学研究所

Institute of Research and Social Studies

Faculty of Social and Political Studies UI

所在地：デボック キャンパス

設立：1989年

学部研究者の専攻領域に応じ、社会文化と社会経済の分野で、開発政策実施のインパクトと評価、ジャカルタ特別区および各地域に関する調査研究の他、家族計画と雇用問題、生活、労働条件等の研究も実施している。

また、地方行政組織のメンバーを対象にした研修教育プロジェクトを実施している。

15. インドネシア共和国基本指標

15. インドネシア (Indonesia)		基本指標
土地面積	陸地面積 1,919,443 km ² 海域 " 3,166,163 計 5,085,606	
人口	1 億9,379 万 (1990年センサス結果)	
主要都市	1,000 人 (1980年センサス結果) Jakarta 6,503 Surabaya 2,028 Bandung 1,463 Medan 1,379 Semarang 1,027 Palembang 787	
気候	熱帯	
ジャカルタに おける気象	猛暑月 4月, 5月 24~31℃ (日平均最低~最高温度) 最寒月 1月, 2月 23~29℃ 最乾月 8月 平均 43mm降水量 最湿月 1月, 2月 平均 300mm降水量	
言語	インドネシア語 (Bahasa Indonesia) 第2言語としてオランダ語の代わりに英語が多く用いられ、特に政府及び実業界では用いられるようになっている。 現地語は 250種がある。	
度量衡	メートル法	
通貨	1 Rupiah (Rp) = 100sen 交換率 (1991年平均) \$ 1 = Rp 1,950.72 ¥ 1 = Rp 14.48	
時刻	西部地域 GTMより 7時間早い 中部 " " 8時間 " 東部 " " 9時間 "	
会計年度	4月 1日 ~ 3月31日	
公休日	新年 1月 1日、独立記念日 8月17日 クリスマス12月25日、その他固定していない休日は次の通り。 Nyepi, Easter, Miraji, Ascension Day, Waisak, Eid-al-Fitr, Eid-ul-Adha, Islamic New Year, Maulud	

